

# 10 教 育 費

6,300,944,293円

項 目	ペ ー ジ
教育総務費	
教育総務費	543
学務費	549
特別支援総務費	552
教育指導費	554
学校給食費	565
私立学校費	566
小学校費	
小学校総務費	571
小学校学務費	576
小学校特別支援教育費	577
小学校指導費	578
中学校費	
中学校総務費	580
中学校学務費	583
中学校特別支援教育費	584
中学校指導費	585

項 目	ペ ー ジ
社会教育費	
社会教育費	589
文化事業費	598
郷土博物館費	599
美術館費	604
吉川英治記念館費	606
図書館費	608
文化交流センター費	614
保健体育費	
スポーツ推進費	616



## 教 育

教育委員会では、「青梅市教育大綱」を踏まえた基本方針に沿って施策の展開を図ったが、令和2年度の教育活動は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた。

### ○ 新型コロナウイルス感染症により影響を受けた主な教育活動

- ・ 緊急事態宣言の発出により、小学校は4月8日から、中学校は4月9日から、5月31日まで休校となり、学校教育活動に多大な影響があった。
- ・ 「新型コロナウイルス感染症対策と学校運営に関するガイドライン」を策定し、安全な教育活動ができるよう指導を行った。
- ・ 休校期間中は学校給食を停止した。また、学校再開後の6月分の給食費は保護者から徴収せず市で負担するとともに、1学期期間中は、パンを個別包装とし、副菜を限定するなど、感染症拡大防止対策に配慮した。
- ・ 就学援助受給者に対して、休校期間中の昼食代として給食費を支給した。
- ・ 感染症拡大防止対策として、市内の小・中学校に対し、手指や校内環境消毒のための保健衛生用品を整備した。
- ・ 小学生の他県への移動教室は困難となったことから、市内の全小学校において、御岳山の宿坊を利用した移動教室を実施し、地元青梅の文化や伝統を学んだ。
- ・ 中学生の修学旅行（京都・奈良）については、日程変更が困難なことなどから、実施できた学校は3校であり、残りの7校は、修学旅行が中止となった。
- ・ 中止となった修学旅行や移動教室のキャンセル料を市が負担し、保護者の負担軽減を図った。
- ・ 国や都の補助金を活用し、学校再開に伴う感染拡大防止対策と併せた学習保障の環境整備のほか、小・中学校の蛇口をレバー式に交換し、手洗い環境の整備を実施した。
- ・ 生涯学習活動団体の活動継続を支援するため、新型コロナウイルス感染予防対策経費に対し、補助金を交付した。

### ○ 教育委員会基本方針に沿った施策の展開

新型コロナウイルス感染症の影響を受けながら、次の5つの基本方針に沿った施策の展開を図った。

#### I 「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成

- ・ 東京都人権尊重教育推進校の指定を受けた西中学校を中心に人権教育に関する研究を進め、市内全小・中学校でその成果を共有した。
- ・ 学校いじめ防止総合年間計画に沿って、教職員への研修やいじめ早期発見のためのアンケート等を実施した。

#### II 「豊かな個性」と「創造力」の伸長

- ・ 国のGIGAスクール構想を加速させる方針に則り、市内全小・中学校の児童生徒一人一台の学習用端末および校内ネットワーク環境の整備を行った。
- ・ 基礎学力の定着を図るため、「サタデークラス」を市内6か所でそれぞれ10～13回実施するとともに、「ステップアップクラス」を各学校において実施した。

(歳出 10 教 育 費)

- ・ 東小・中学校を除く市内全ての小・中学校への特別支援教室の設置が完了した。
- Ⅲ 生涯学習の推進と社会教育の充実
- ・ 青梅市文化交流センターの地下のバンドルームおよび文化活動室Aを改修し、防音機能を高めた。
- Ⅳ 文化・芸術の振興
- ・ 都指定有形文化財「御嶽神社旧本殿」の漆塗り替え工事などに対し、指定文化財保存事業費補助金を交付した。
  - ・ 館蔵企画展「モノクロームの詩－版画に見る細密表現の世界」等を開催した。
  - ・ 寄付を受けた青梅市吉川英治記念館について、民間事業者の創意工夫を活用するため指定管理者制度を7月から導入し、9月7日の英治忌に合わせ開館した。
- Ⅴ 「市民の教育参加の促進」と「主体的な教育行政の推進」
- ・ 児童の防犯対策を充実させるため、小学校5校の登下校区域に防犯カメラを増設した。
  - ・ 新学校給食センターの整備に向け、整備事業者の選定に必要な、実施方針および要求水準書の作成を進めた。
  - ・ 学校給食費を公会計化するとともに、過年度分の滞納者に対する債権回収事務について私人への委託を行った。
  - ・ 教育環境の整備では、小学校1校・中学校3校のトイレ改修工事、小学校6校の特別教室等空調機整備工事など各整備工事を実施した。  
また、小・中学校に配置してある13台の庁用車を電気自動車に転換するとともに、庁用車配置校に電気自動車に必要な充電設備の設置工事を実施した。
  - ・ 教育環境の向上と安全で安心できる学校施設を目指すため、「青梅市学校施設個別計画」を策定した。

表 彰

1 叙位

区 分	氏 名	退職時勤務校	受章年月日等
正 六 位	故 渡 邊 晴 季	元青梅市立西中学校長	令和 2. 6. 6 93歳
正 六 位	故 中 村 昭 平	元青梅市立第一小学校長	令和 2. 9. 5 90歳

2 叙勲

区 分	氏 名	退職時勤務校	受章年月日等
瑞宝双光章	宿 谷 清 治	元青梅市立第一小学校長	令和 2. 9. 1 88歳
瑞宝双光章	小 室 壽 彦	元青梅市立第四小学校長	令和 2. 11. 3 81歳
瑞宝双光章	福 島 敏 郎	元青梅市立霞台中学校長	令和 3. 1. 1 88歳

教 育 総 務 費

2, 105, 843, 784円

○ 教 育 総 務 費 ( 122, 520, 709円) [教育総務課・企画政策課]

1 教育委員会経費

(1) 教育委員会の構成

職 名	氏 名	任 命 年 月 日	任 期 年 月 日	備 考
教 育 長	岡 田 芳 典	平成30年10月13日	令和 3年10月12日	第 3 期
職 務 代 理 者	大 野 容 義	平成30年11月 2日	令和 4年11月 1日	第 2 期
委 員	稲 葉 恭 子	令和 2年10月 1日	令和 6年 9月30日	第 2 期
〃	榎 本 淳 一 郎	平成29年12月21日	令和 3年12月20日	第 1 期
〃	百 合 陽 子	令和元年10月 1日	令和 5年 9月30日	第 1 期

(2) 教育委員会付議事案

区 分	議案番号	件 名	結 果
第1回定例会 令和2. 4.17 (書面表決)	第1号	青梅市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について	原案可決
	第2号	青梅市学校給食会役員の委嘱について	〃
	第3号	青梅市美術館運営委員会委員の委嘱について	〃
		議案3件 協議3件 報告10件	
第2回定例会 令和2. 5. 8 (書面表決)	第4号	青梅市社会教育委員の委嘱について	原案可決
	第5号	青梅市教育委員会いじめ問題対策委員会委員の委嘱について	〃
		議案2件 報告6件	
第3回定例会 令和2. 6.12		協議1件 報告4件	
第4回定例会 令和2. 7. 3	第6号	青梅市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について	原案可決
	第7号	青梅市図書館運営協議会委員の委嘱について	〃
	第8号	会計年度任用職員関係教育委員会規程の一部改正について	〃
	第9号	青梅市教育委員会職員被服貸与規程の一部改正について	〃
	第10号	青梅市立学校等職員服務規程の一部改正について	〃
	第11号	青梅市吉川英治記念館条例施行規則等の一部を改正する規則について	〃
	第12号	青梅市吉川英治記念館条例の施行期日を定める規則について	〃
		議案7件 協議10件 報告5件	
第5回定例会 令和2. 8. 5	第13号	令和3年度使用教科用図書採択について	原案可決
		議案1件 協議1件	
第6回定例会 令和2. 8.21	第14号	青梅市美術館運営委員会委員の委嘱について	原案可決
	第15号	令和2年度青梅市教育委員会事務点検評価報告書(平成31年度(令和元年度)分)の決定について	〃
		議案2件 協議5件 報告10件	
第7回定例会 令和2.10. 7		報告4件	

(歳出 10 教 育 費)

区 分	議案番号	件 名	結 果
第8回定例会 令和2.11.5	第16号	青梅市教育委員会防犯カメラの管理および運用に関する規則の一部を改正する規則について	原案可決
	第17号	青梅市立学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則について	〃
		議案2件 協議5件 報告5件	
第9回定例会 令和2.11.25		協議4件 報告7件	
第10回定例会 令和3.1.13	第18号	青梅市公立学校職員の職務に専念する義務の免除に関する規則の一部を改正する規則について	原案可決
	第19号	青梅市立学校等職員服務規程の一部改正について	〃
	第20号	青梅市学校給食費の管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について	〃
		議案3件 協議8件 報告7件	
第11回定例会 令和3.2.4	第21号	校長転任の内申について	原案可決
	第22号	校長任命の内申について	〃
	第23号	副校長転任の内申について	〃
	第24号	副校長任命の内申について	〃
		議案4件 協議5件 報告3件	
第12回臨時会 令和3.2.17	第25号	令和3年度青梅市教育委員会の基本方針について	原案可決
	第26号	青梅市教育委員会事案決定規程の一部改正について	〃
		議案2件 協議5件 報告5件	
第13回定例会 令和3.3.24	第27号	押印廃止に伴う関係教育委員会規則の整備に関する規則について	原案可決
	第28号	青梅市教育委員会後援名義使用承認事務取扱規程の一部改正について	〃
	第29号	青梅市学校運営協議会規則について	〃
	第30号	青梅市立学校職員安全衛生管理規則について	〃
	第31号	青梅市立学校事案決定規程の一部改正について	〃
	第32号	青梅市立学校等職員服務規程等の一部改正について	〃
		議案6件 協議8件 報告7件	

(3) 規則等の制定改廃

ア 規則

規則番号	件 名	公布年月日	施行年月日
令和2年第11号	青梅市吉川英治記念館条例施行規則等の一部を改正する規則	2.7.15	公布の日 2.9.5
令和2年第12号	青梅市吉川英治記念館条例の施行期日を定める規則	2.7.15	公布の日
令和2年第13号	青梅市教育委員会防犯カメラの管理および運用に関する規則の一部を改正する規則	2.9.4	青梅市吉川英治記念館条例施行の日
令和2年第14号	青梅市教育委員会防犯カメラの管理および運用に関する規則の一部を改正する規則	2.11.10	2.11.10

規則番号	件名	公布年月日	施行年月日
令和2年第15号	青梅市立学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則	2.11.10	公布の日
令和3年第1号	青梅市公立学校職員の職務に専念する義務の免除に関する規則の一部を改正する規則	3.1.25	3.2.1
令和3年第2号	青梅市学校給食費の管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則	3.1.25	公布の日
令和3年第3号	押印廃止に伴う関係教育委員会規則の整備に関する規則	3.3.31	3.4.1
令和3年第4号	青梅市学校運営協議会規則	3.3.31	3.4.1
令和3年第5号	青梅市立学校職員安全衛生管理規則	3.3.31	3.4.1

イ 訓令

訓令番号	件名	訓令年月日	施行年月日
令和2年甲第4号	会計年度任用職員関係教育委員会規程の一部改正	2.7.15	2.7.15
令和2年甲第5号	青梅市教育委員会職員被服貸与規程の一部改正	2.7.15	2.7.15
令和2年甲第6号	青梅市立学校等職員服務規程の一部改正	2.7.15	2.7.15
令和3年甲第1号	青梅市立学校等職員服務規程の一部改正	3.1.25	3.2.1
令和3年甲第2号	青梅市教育委員会事案決定規程の一部改正	3.2.26	3.4.1
令和3年甲第3号	青梅市教育委員会後援名義使用承認事務取扱規程の一部改正	3.3.31	3.4.1
令和3年甲第4号	青梅市立学校事案決定規程の一部改正	3.3.31	3.4.1
令和3年甲第5号	青梅市立学校等職員服務規程等の一部改正	3.3.31	3.4.1
令和3年甲第6号	青梅市教育委員会要綱等にもとづく申請書等への押印の求めを廃止する規程	3.3.31	3.4.1

(4) 学校訪問の実施

月日	学校名	月日	学校名	月日	学校名
6.26	東小・中	10.14	吹上小 吹上中	10.16	藤橋小 新町中
10.21	今井小 第七中	10.23	河辺小 霞台中	10.30	霞台小 泉中
11.4	新町小	11.10	若草小		

## (5) 市立小・中学校児童・生徒数、学級数、教職員数

## ア 小学校

(令和2年5月1日現在、単位：人、学級)

学校名	児 童 数							学 級 数							教職員数			市職員数				
	1 年 年	2 年 年	3 年 年	4 年 年	5 年 年	6 年 年	計	1 年 年	2 年 年	3 年 年	4 年 年	5 年 年	6 年 年	特別 支援 計	計	男	女	計	事 務	業 務	計	
第一小	(3) 72	(3) 50	(5) 60	(3) 66	(4) 65	(4) 65	(22) 378															
第二小	(7) 83	(4) 94	(13) 104	(8) 105	(11) 122	(4) 120	(47) 628															
第三小	(6) 91	(6) 145	(8) 123	(8) 112	(4) 144	(9) 129	(41) 744															
第四小	(3) 62	(4) 73	(10) 64	(9) 66	(2) 67	(8) 66	(36) 398															
第五小	64	48	70	65	61	93	401															
第六小	17	12	9	19	16	22	95															
第七小	12	9	9	8	14	15	67															
成木小	4	6	11	9	12	12	54															
河辺小	57	76	85	65	88	93	464															
新町小	122	120	106	122	132	110	712															
霞台小	52	57	63	66	63	72	373															
友田小	28	27	23	34	36	39	187															
今井小	50	50	51	41	58	68	318															
若草小	(4) 89	(8) 77	(10) 82	(18) 87	(18) 79	(15) 102	(73) 516															
藤橋小	30	41	28	41	41	42	223															
吹上小	(8) 43	(8) 50	(6) 51	(5) 48	(5) 44	(3) 44	(35) 280															
東小	0	0	0	1	2	12	15															
合 計	(31) 876	(33) 935	(52) 939	(51) 955	(44) 1,044	(43) 1,104	(254) 5,853							[4] 35								
前年比 増 減	(2) -65	(-8) -11	(10) -9	(9) -82	(4) -49	(-8) -19	(9) -235							[0] 1								

※ ( ) 内は特別支援学級児童数で内数、[ ] 内は通級学級数で外数

## イ 中学校

(令和2年5月1日現在、単位：人、学級)

学校名	生徒数				学級数					教職員数			市職員数		
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	特別支援	計	男	女	計	事務	業務	計
第一中	(9) 76	(4) 87	(2) 67	(15) 230											
第二中	(6) 154	(10) 164	(8) 156	(24) 474											
第三中	187	185	163	535											
西中	86	93	118	297											
第六中	16	17	15	48											
第七中	6	16	19	41											
霞台中	(16) 125	(14) 113	(12) 139	(42) 377											
吹上中	(5) 67	(11) 57	(4) 40	(20) 164											
新町中	178	147	154	479											
泉中	(18) 151	(11) 148	(11) 147	(40) 446											
東中	7	13	15	35											
合計	(54) 1,053	(50) 1,040	(37) 1,033	(141) 3,126											
前年比 増減	(7) 24	(14) 13	(4) -99	(25) -62											

※ ( ) 内は特別支援学級生徒数で内数

## (6) 教育委員会の事務点検評価

教育委員会が実施した令和元年度の事務事業について、自ら点検し評価した結果に有識者の意見を付して報告書にまとめ、市議会に提出し、市民に公表した。

## 2 総合教育会議経費

市長と教育委員会で構成する総合教育会議を開催し、教育を行うための諸条件の整備など重点的に講ずべき施策等について協議・調整を行った。

月 日	内 容
10.7	・児童・生徒1人1台の端末整備について ・成人年齢引下げに伴う青梅市成人式のあり方等について
2.10	・文化財の保護と活用について ～旧吉野家住宅および青梅市吉川英治記念館の今後の活用策～

(歳出 10 教育費)

### 3 安全・安心学校づくり推進事業経費

#### (1) 「青梅子ども110番の家」

児童・生徒が不審者から声をかけられたり、事件に巻き込まれそうになった場合に駆け込むことができる緊急避難場所として、住宅や商店等を登録する「青梅子ども110番の家」の事業を継続して推進した。新規登録の受付を行うとともに、平成25・26年度に登録した55件に対して、風雨・紫外線等で劣化した表示旗の交換を行った。

また、今後の事業の参考とするため、登録者に対するアンケート調査を実施した。

(令和3年3月31日現在)

学校区域	件数	学校区域	件数	学校区域	件数
第一中学校区	272	第六中学校区	125	新町中学校区	169
第二中学校区	244	第七中学校区	130	泉中学校区	261
第三中学校区	206	霞台中学校区	273		
西中学校区	193	吹上中学校区	177	合計	2,050

#### (2) スクールガード・リーダーによる巡回指導

児童・生徒が安心して教育を受けられる環境を整えることを目的に、登下校時等における通学路の安全を確保するため、東京都の「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」を活用して、スクールガード・リーダー（警察官OB）による通学路の巡回指導を実施した。

スクールガード・リーダーは、学校と家庭や地域の関係機関・団体と連携した子ども安全ボランティア（スクールガード）の地域巡回活動に同行して、効果的な地域巡回について指導・助言等を行った。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各小学校における地域巡回活動数は減少した。

#### (3) 青色防犯パトロールカーの運用

学校周辺の安全・安心対策を一層推進するため、小・中学校13校および教育委員会に配置の専用車に青色回転灯を装着し、学校周辺や通学路の青色防犯パトロールを実施した。また、不審者が現れた場合には状況に応じてパトロールを実施するなど、犯罪の抑止を図った。

### 4 西多摩地域広域行政圏協議会共同事業経費

多摩地域の児童詩集である「多摩の子・多摩子ども詩集」の発行により、児童の想像力・表現力を高め、地域の住民交流と文化および教養の向上に寄与するとともに、西多摩8市町村教育委員会、多摩の子・多摩子ども詩集発行協議会との連携により、西多摩広域行政圏計画に定める、未来の西多摩を担うたくましい子どもの育成を図った。

1 安全・安心学校づくり推進事業経費

- (1) 黄色帽子配布……………新入学児童 900個
- (2) ランドセルカバー配布……………新入学児童 900枚
- (3) 自転車通学生徒用ヘルメット配布……………中学生 206個

2 奨学金融関係経費

(1) 育英資金（入学一時金）融資

ア 融資の概要

区 分	融 資 限 度 額	償 還 期 間	償 還 方 法	貸 付 利 率	利 子 補 給 率
高 校	20～60 万円	3 年 以 内 (3か月据置)	元 金 均 等 月 賦 返 済	無 利 子	(29年度分) 4月1日以降0.9%
大 学	20～80 万円				(30年度分) 4月1日以降0.9%
					(元年度分) 4月1日以降0.9%
					(2年度分) 4月1日以降0.9%

※ 高校（専修学校の高等課程を含む。）大学（専修学校の専門課程を含む。）

イ 融資実行の状況

(単位：人、千円)

区 分	高 校	専 修 学 校 (高等課程)	大 学	専 修 学 校 (専門課程)	合 計
融 資 人 員	2	0	0	0	2
融 資 金 額	760	0	0	0	760

ウ 融資残高異動状況

(単位：人、千円)

区 分	前 年 度 末 融 資 残 高 A	年 度 内 融 資 実 行 額 B	年 度 内 償 還 額 C	年 度 末 融 資 残 高 A+B-C
融 資 人 員	7	2	償還完了 4	5
融 資 金 額	1,804	760	1,192	1,372

(2) 育英資金（奨学金）融資

ア 融資の概要

区 分	融 資 限 度 額	償 還 期 間	償 還 方 法	貸 付 利 率	利 子 補 給 率
高 校	公立 月額 2万円 私立 月額 3万円	卒 業 後 10年以内 (12か月据置)	元 金 均 等 月 賦 返 済	無 利 子	短 期 プ ラ イ ム レ ー ト を 基 準 と し た 利 率 10年 1.50%
大 学	公立 月額 4万円 私立 月額 5万円				
外国への留学生一時金	100万円				

※ 高校（専修学校の高等課程を含む。）大学（専修学校の専門課程を含む。）

## イ 融資実行の状況

(単位：人、千円)

区 分	高 校	専修学校 (高等課程)	大 学	専修学校 (専門課程)	外国への 留 学 生	合 計
融 資 人 員	3(2)	0	9(5)	4	0	16(7)
融 資 金 額	1,440	0	8,280	5,760	0	15,480

※ ( ) 内は新規に融資した人員を示し、内数である。

## ウ 融資残高異動状況

(単位：人、千円)

区 分	前年度末 融 資 残 高 A	年 度 内 融 資 実 行 額 B	年 度 内 償 還 額 C	年 度 末 融 資 残 高 A+B-C
融 資 人 員	70	16	償還完了 12	74
融 資 金 額	56,946	15,480	12,012	60,414

## 3 教育相談経費

子どもの発達の・心理的問題、その他子育ての不安や心配など多岐にわたる相談に応じている。

年間の相談件数は来所503件、電話相談38件であった。

## (1) 来所相談

503件のうち終結は202件、次年度への相談継続は301件であった。面談回数は、保護者2,628回、子ども1,132回で合計3,760回であった。

男女の割合は、男子は322件、女子は181件であった。

主な相談内容別件数 (来所)

(単位：件)

区 分	幼 児	小 学 生	中 学 生	そ の 他	合 計
不 登 校	0	53	48	0	101
集 団 不 適 応	5	27	8	0	40
知 的 発 達	0	3	3	0	6
就 学	1	8	0	0	9
教 育 一 般	0	1	1	0	2
自 閉 症 ・ 同 疑	6	29	13	0	48
い じ め	0	2	0	0	2
そ の 他	41	202	52	0	295
合 計	53	325	125	0	503

(2) 電話相談

38件のうち男子は18件、女子は11件、不明9件であった。

主な相談内容別件数（電話）

（単位：件）

区 分	幼 児	小 学 生	中 学 生	そ の 他	合 計
不 登 校	0	2	5	0	7
集 団 不 適 応	0	0	0	0	0
教 育 一 般	1	2	0	0	3
自 閉 症 ・ 同 疑	0	0	0	0	0
い じ め	0	4	2	1	7
そ の 他	3	8	4	6	21
合 計	4	16	11	7	38

1 特別支援教育関係経費

(1) 青梅市特別支援教育推進協議会

青梅市の特別支援教育を円滑に進めていくための協議会を設置した。

青梅市特別支援教育推進協議会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
高橋 寛	医師		塚本 智信	市長部局	
島田 博祐	学識経験者		茂木 正		
福島 賢	幼稚園長		原島 明		
桑田 一	保育所施設長		○ 渡辺慶一郎		
西ヶ谷 薫	社会福祉事業団職員		加藤 博之		
田口 克己	特別支援学校長		増田 博司		
山本 和彦			◎ 浜中 茂	教育委員会事務局	
○ 八木 慎一	小学校特別支援学級設置校長		布田 信好		1.31 退任
山本 巖	中学校特別支援学級設置校長		芥川 純一郎		2.1 就任
仁藤 茂則	小学校長		榎戸 智		
富田 聖和	中学校長		手塚 成隆		
竹田 雄二郎	教育相談所長		梶井 ひとみ		
齋藤 剛一	市長部局		坂井 直樹		

任期：令和2年4月1日～令和3年3月31日 ◎は会長、○は副会長

開催回数2回（第3回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した）

(2) 青梅市特別支援教育関係事業

ア 小・中学校への巡回・訪問相談の実施

(単位：回)

巡回・訪問先	巡回・訪問者	回数
小学校（15校）	明星大学教授、星美学園短期大学准教授、西多摩療育支援センター心理相談員、臨床心理士、特別支援学校教員	20
中学校（7校）		9

イ 理解・啓発研修会の実施

(単位：人)

開催日	内容	対象者	講師	受講者数
12.9	就学支援シートの活用 ～学校生活に向けた保護者との連携～	幼稚(児)園・保育所関係者	都立羽村特別支援学校 特別支援教育コーディネーター 常光 祥子 都立青峰学園 特別支援教育コーディネーター 穴吹 由美	23
3.5	地域と連携した特別支援教育について (書面開催)	特別支援教育コーディネーター、 幼稚(児)園・保育所関係者	—	15 (アンケート回答者数)

その他研修については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。

ウ 理解・啓発リーフレットの作成・配布

小学校に就学する児童の適切な就学を支援し、また保護者に就学支援シートの活用を周知するため、リーフレット「楽しい学校生活を送るために（就学支援シートの活用に向けて）」を作成し配布した。

支援を必要とする児童・生徒の保護者等に周知するため、リーフレット「特別な支援を必要としている子ども達の就学について」を作成し配布した。

エ 就学支援シートの活用

特別な教育的支援が必要な子どもたちが、小学校での生活を円滑にスタートできるよう家庭や幼稚（児）園・保育所等での様子を小学校に引き継ぐ就学支援シートを作成し、その活用を推進した。

オ 副籍制度の実施

特別支援学校に通学している児童・生徒が、住んでいる地域の小・中学校に副次的な籍を置き、学校だよりの交換や学校行事に参加し交流を図った。

カ 特別支援教室の設置完了

第三中・第六中・霞台中・吹上中・新町中・泉中に特別支援教室を設置し、東小・中学校を除く市内全ての小・中学校への設置が完了した。

2 学校教育活動支援事業経費

小・中学校における教科指導や生活指導等を充実し、また特別支援教育の推進を図るため、学校教育活動支援員を配置した。

1 学校教育指導経費

(1) 指導の重点

児童・生徒一人ひとりに基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るとともに、豊かな心や体力を育み、個性や能力を生かして社会の変化に主体的に対応できる力を高めることを目指し、各学校の教育活動への指導・支援を行い、「生きる力」の育成に努めた。また、教員の資質・能力の向上を図るとともに、各学校における教育課程の編成・準備を円滑に進めることができるよう、指導・支援を行った。

(2) いじめ防止対策

ア 「青梅市いじめの防止に関する条例」にもとづく2つの組織を運営した。

「青梅市いじめ問題対策連絡協議会」計1回

「青梅市教育委員会いじめ問題対策委員会」計1回

(ア) 青梅市いじめ問題対策連絡協議会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
◎ 浜中 茂	教育委員会		鈴木加奈子	児童相談所	
○ 竹田雄二郎	教育相談所		三戸 誠	法務局	
小林 伸成	保護者代表	6.12 退任	桑島 康雄	警察	
久下 祐午		6. 3 退任	鈴木 亜英	法律	
木水 健		6.13 就任	中村 佳美	民生・児童委員代表	
山崎 栄次		6. 4 就任	増田 博司	市長部局	
佐藤 広明	学校代表				
高橋 章次					

任期：平成31年4月1日～令和3年3月31日 ◎は会長、○は会長職務代理者

(イ) 青梅市教育委員会いじめ問題対策委員会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
◎ 有村久春	学識経験者		竹尾由紀子	民生・児童委員代表	
○ 池田政次	市民		加藤祥子	福祉	
吉村正久			八戸弘仁		
鈴木亜英	法律		高橋 寛	医療	
長柴久美	心理		八代健二	警察	

任期：平成31年4月1日～令和3年3月31日 ◎は委員長、○は委員長職務代理者

イ 令和2年2月「いじめ重大事態の発生について」報告した1件について、令和2年6月から青梅市教育委員会いじめ問題対策委員会調査部会による調査が開始され、関係教職員および児童への聴取が行われた。

ウ 青梅市いじめ防止マニュアルについて、条例改正の経緯、重大事態の報告等を追加修正し改訂した。

エ 「いじめアンケート」を「学校や生活に関するアンケート」に改訂し、年間4回のアンケートを行った。

オ 新たに2件のいじめ重大事態への申立をふまえ、校長、副校長を対象に、いじめに関する研修を行った。

### (3) 外国人児童・生徒に対する対応

#### ア 外国人児童・生徒学級

市内小・中学校に在籍する外国人および海外帰国児童・生徒のうち、希望者を対象に日常生活の指導および日本語の指導を行い、学校生活への適応を図った。

##### (ア) 通級者に対する指導

ブラジル1人、ベトナム2人、フィリピン1人、中国1人、大韓民国1人、日本国籍2人の合計8人の在籍児童・生徒に対し60回の授業を行った。

##### (イ) 巡回指導

外国人児童・生徒が在籍している学校を訪問し、学校生活に適応するための指導および教員に対する助言等を行った。

#### イ 外国籍児童・生徒日本語指導員

日本語の指導を必要とする外国籍児童・生徒が在籍する市内小・中学校に、児童等の母国語を使用できる日本語指導員を配置する制度を整えた。

### (4) 心の教育の推進

児童・生徒が自他をいつくしみ生命を大切にし、思いやりの心や社会生活の基本的ルールを身に付けるため、コロナ禍においても道德教育の充実を図るとともに、学校だよりやホームページ等を活用し、学校の情報発信を行うなど、家庭・学校・地域等が協働した心の教育を推進した。

### (5) 青梅市小・中学校一貫教育の推進

一貫教育対象校ごとに設定した目指す児童・生徒像をもとに、全小・中学校が青梅の良さや各中学校区の特色を生かした取組を通して、9年間の義務教育を見通した学習指導および健全育成の充実を図る小・中学校一貫教育を推進した。

### (6) 開かれた学校づくりの推進

新型コロナウイルス感染拡大防止により、学校行事や授業参観が制限される中、学校運営連絡協議会実施による市民の学校運営への参画等を通して、学校と地域との連携の推進を図った。

また、各学校における自己評価とともに、学校関係者評価を実施し、学校評価結果の公表を行うとともに、学校運営や教育活動の状況について説明し、保護者、地域の教育活動への理解に努めた。

(7) いじめゼロ宣言子ども議会

新型コロナウイルス感染防止の観点等から、議場等を使用した子ども議会は中止としたが、中学校区を中心に、各校で「いじめゼロ宣言」について、スローガンの作成やいじめの根絶に向けた取組を行った。

(8) 青梅市教育委員会伝統文化奨励表彰

青梅市における伝統文化の継承、発展および児童・生徒の郷土愛の育成に資することを目的とし、青梅市の伝統芸能を継承する活動に取り組んでいる児童・生徒を表彰した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、表彰式は中止とし、各学校にて校長から朝礼等で表彰した。

被表彰者 37人

(9) 教員の負担軽減に向けた人材の配置

副校長を補佐する非常勤職員を小学校12校、中学校2校に各1人配置した。また、印刷や授業準備など教員の補助を行うスクール・サポート・スタッフを小学校3校に各2人、小学校14校、中学校11校に各1人配置した。

さらに、従来の部活動顧問教員を補助する「部活動外部指導員」に加えて、部活動の技術指導や大会への引率等を職務とする「部活動指導員」を中学校10校に延べ17名配置した。

(10) 研修委託

ア 教職員研修

中学校教科研究 545千円

イ 研究指定校

年 度	学 校 名	研 究 主 題
R2・R3	若 草 小	互いの立場や考えを尊重し、自分の考えを伝え合う児童の育成 <主人公は君だ！伝え、受け止め、成長しよう>
R2・R3	藤 橋 小	「みんながわかる授業づくり」 ～ユニバーサルデザインの視点を生かして～
R2・R3	第 七 中	「小規模校の特性を生かした主体的・対話的で深い学びの実現に向けて」 ～多様な人々と協働した教育を通して、自ら学ぶ意欲をはぐくむ指導法の工夫～
R元・R2	今 井 小	「10年先を生きる力」の育成
R元・R2	第 六 中	地域と連携した学校づくり

(11) スクールカウンセラー

東京都のスクールカウンセラー活用事業により、全小・中学校に週1日のスクールカウンセラーが配置され、不登校やいじめ、問題行動等の改善に努めた。

臨時休校等の措置に伴う児童・生徒の心のケアを支援するため、東京都教育委員会より臨床心理士の臨時派遣が行われ、市内2校へ追加配置された。

## 2 不登校対策支援事業経費

### (1) 適応指導教室（ふれあい学級）

ふれあい学級においては、小学生3人と中学生37人の計40人に対し、不安や悩みについての教育相談や習熟の程度に応じた学習指導を行った。なお、例年では体験学習を3回実施するが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年度は中止とした。

### (2) 登校支援

登校支援室を設置し、各校の不登校児童・生徒への取組を確認するとともに、2名のスクールソーシャルワーカーが家庭を訪問するなどして、登校への働きかけを行った。

主な相談内容別件数（スクールソーシャルワーカー）（単位：件）

区 分	小 学 生	中 学 生	合 計
不 登 校	12	12	24
家 庭 環 境	5	0	5
虐 待	0	0	0
情 緒 不 安 定	0	0	0
発 達 障 害	0	0	0
非 行	0	0	0
学 習 相 談	0	0	0
い じ め	0	0	0
そ の 他	0	0	0
合 計	17	12	29

### (3) 学校と家庭の連携推進事業

不登校等の生活指導上の課題に対応するため、東京都の「学校と家庭の連携推進事業費委託金」を活用し、10校に家庭と子供の支援員の配置およびスーパーバイザーの派遣を行った。

## 3 英語特別指導関係経費

国際社会に生きるために必要なコミュニケーション能力の育成と国際理解の基礎を培うため、市立小中学校全校に、外国人英語指導助手を配置した。なお、適応指導教室にも同様に配置した。

## 4 教職員研修等経費

教職員の資質および指導力の向上を図るとともに、各校が特色ある教育課程を編成するために各種研修会等を実施した。

（歳出 10 教 育 費）

## (1) 教職員研修等

(単位：回)

研修名	対象	回数	受講者数	目的・趣旨
校長研修	校長	—	—	学校の組織、運営および管理に関する研修を通して、校長に求められる資質や能力、専門性の向上を図るとともに、各学校における様々な教育課題に対応する能力を育成する。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
副校長研修	副校長	—	—	学校の組織、運営および管理に関する研修を通して、副校長に求められる資質や能力、専門性の向上を図るとともに、各学校における様々な教育課題に対応する能力を育成する。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
教務主任会	教務主任	5	28	教務主任の職責や校内における教務主任の実務に関する研修、情報交換等を通して、教務主任としての資質や能力を高め、自覚を深めるとともに、教務主任としての力量の一層の向上を図る。 第3回は外部講師を招聘。テーマ「1人1台端末の活用～先進地域の紹介～」
生活指導主任会	生活指導主任	11	28	青梅市の各小・中学校における生活指導上の諸問題の解決を図るために情報交換および研修を行い、具体的な問題の解決を図る。研修等を通して生活指導主任としての資質や能力を高め、自覚を深めるとともに、生活指導主任としての力量の一層の向上を図る。 管外研修先【八王子少年センター】
若手教員育成研修1年次	2年度採用教員	10	37	新任教員に対して教員としての使命感・幅広い知見、実践的指導力等を習得させるとともに保護者・市民の期待や要請に応えるため、社会の変化に伴う教育課題の解決に対応できる資質の向上を目指す。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部書面開催。
若手教員育成研修1年次(宿泊研修)	2年度採用教員	1	33	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部書面開催。
若手教員育成研修2年次	元年度採用教員	3	43	教材研究、指導計画の立案、評価等の検討および研究の進め方について実践的に研修を行い、2年目を迎えた教員の指導力および資質の向上を図る。一部書面開催。
若手教員育成研修3年次	30年度採用教員	3	22	教材研究、指導計画の立案等の授業研究および、外部との連携・折衝力等の研修を行い、3年目を迎えた教員の指導力および資質の向上を図る。一部書面開催。
市内視察研修	2年度採用教員	—	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。別途、市内文化財等について周知。
中学校進路指導主任会	進路指導主任	2	11	進路指導主任の職責を自覚し、各学校におけるキャリア教育の円滑な推進のために、各学校の取組についての情報交換や研修を通して、必要な資質や能力を高める。一部書面開催。
新任主幹教諭研修	2年度新任主幹教諭	1	12	主幹教諭の職責や学校の組織的な運営等に関する研修を通して、主幹教諭に求められる資質や能力、専門性の向上を図るとともに、将来管理職として学校経営を担う人材としての資質、能力を育成する。書面開催。

研修名	対象	回数	受講者数	目的・趣旨
人権教育研修	人権教育推進担当教諭	2	28	青梅市における学校・地域の実態や人権教育推進上の課題に即して、教育内容・方法の改善・充実を図るための研究・協議を行うとともに、教員の人権意識・人権感覚の啓発を推進する。また、資料集「人権教育プログラム」や人権教育推進校の研究成果の活用を図る。5回のうち3回は中止。2回は書面開催。
学校教育相談研修	2年度採用教員の希望者	1	28	学校における教育相談活動の充実、児童・生徒の側に立った授業の推進等、教育相談的手法を生かした教育活動の一層の充実を図り、多様化する問題行動や学校不適応等の予防と解決に向けた資質や能力の向上を図る。テーマ「教育相談所と学校との関わりについて」「不登校事例検討」
情報セキュリティ研修 (未受講者対象研修)	2年度転任教員 2年度採用教員	3	75	学校における情報資産を安全かつ適切に取り扱うための情報保護の重要性を理解し、基礎的な情報セキュリティ対策の理解・実践を図る。
情報セキュリティ研修 (管理職対象研修)	校長 副校長	3	26	市内外の情報セキュリティ動向や情報セキュリティ監査等について周知し、セルフチェックによる振り返りを実施することで、情報セキュリティ対策の継続的実践を図る。
特別支援教育理解研修	特別支援教育担当教諭等	—	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
教育経営研修	副校長 主幹教諭	1	62	小・中学校の副校長および主幹教諭を対象に、青梅市における喫緊の教育課題（いじめ問題等）について、外部講師を招聘し理解を深める。 テーマ「学校内におけるいじめ・不登校の組織的対応～OJTの有効な活用を目指して～」
情報教育推進委員会	情報教育推進委員	2	28	情報機器等の積極的な活用により、情報を積極的に発信するための基礎的な能力の育成や多方面からの情報収集による教育の質的改善・充実を図る。第2回は外部講師を招聘。テーマ「プログラミング教育の推進について」
水泳指導研修	水泳指導担当教諭	—	—	安全な水泳指導のあり方と事故防止について研修を実施するとともに都が実施した中央講習会の内容の伝達を通して、最新の水泳指導の考え方や進め方について伝達講習を実施し、円滑な水泳指導に資する。実技研修は中止。校長会・副校長会において、水の危険性などを周知し、各校で管理職が各校教員を指導。
普通救命講習	2年度採用教員の希望者	1	32	事故発生時に備え、普通救命講習（AED講習を含む。）を実施する。
教育課題研修	主幹教諭	1	27	4市1郡の共催事業として実施し、西多摩地域における教育課題について、その課題解決の方向や具体的な方策についての理解を深め、学校改善に資する。第1回は中止。第2回テーマ「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善と学習評価」
中堅教諭等資質向上研修Ⅰ	在職期間が10年に達した教員	8	18	教育公務員特例法にもとづき、教諭等としての在職期間が10年に達した教員に対し、学習指導、生活指導・進路指導に関する指導力の向上、教育公務員としての資質向上のために研修を実施する。一部、動画視聴等を含むオンライン研修で実施。

（歳出 10 教育費）

研修名	対象	回数	受講者数	目的・趣旨
特別支援教育コーディネーター研修	特別支援教育コーディネーター	1	28	東京都および青梅市内の各学校における特別支援教育の実施状況について理解するとともに、講義・演習、情報交換や協議を通してコーディネーターとして各校における特別支援教育を推進させるための資質や能力の育成を図る。書面開催。
外国語教育担当者連絡会	外国語活動・外国語担当教諭	3	27	AETの効果的な活用等、外国語科、外国語活動の充実を図る。一部書面開催。
柔道（武道）研修	保健体育科教諭	1	9	中学校保健体育科の体育分野の内容「武道」について、基礎的な知識や技能等に関する柔道研修を実施し、教員の指導力の向上を図る。実技研修は中止。安全への配慮や受け身や技について研修。

## (2) その他の研修

学校における様々な教育課題への対応や、教員の指導力向上を図ることを目的とし、次の委員会を設置した。

ア 人権教育推進委員会

イ 道徳教育推進委員会

ウ 学力向上推進委員会

エ 健康体力向上推進委員会（兼食育リーダー連絡会）

## 5 小・中学生の主張大会開催経費

### (1) 第16回青梅市小・中学生の主張大会の開催

将来の夢や生き方、身近な生活や社会に対する考え方、郷土への思いなどをテーマに、市内在住小学5・6年生および中学生から2,709点の応募があった。1次、2次審査を通過した、小学生6人、中学生10人の計16人が発表し、発表内容により、青梅市長賞、青梅市教育委員会賞、審査委員特別賞を授与した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、観客を制限（発表者の保護者のみ参観）して実施した。発表者の様子については、後日、指導室からオンラインで限定配信を行い、学校関係者等が視聴できるようにした。

ア 期 日 12月5日（土）

イ 会 場 文化交流センター

ウ 受賞者

#### (ア) 青梅市長賞

	人数	学校名	学年	氏名	題名
小学生	1	第二小	6年	渋川 雅晴	ポジティブに生きよう
中学生	2	第一中	2年	久住 そら	「チェンジ・ザ・ワールド」
		第二中	2年	岩浪 怜生	自ら学ぶという心

## (イ) 青梅市教育委員会賞

	人数	学校名	学年	氏名	題名
小学生	2	吹上小	6年	金杉 さくら	小さく生まれた妹
		第二小	6年	久保 愛希恵	人を幸せにするあいさつ
中学生	2	吹上中	2年	乙津 絢音	左利きである私の人生
		西中	3年	渡邊 遥疾	将来の夢や希望

## (ウ) 審査委員特別賞

	人数	学校名	学年	氏名	題名
小学生	3	新町小	5年	細谷 愛莉	薬剤師になりたい
		第二小	6年	島崎 珠藍	救える命
		第七小	6年	島崎 輝空	ぼくらの黒沢川
中学生	6	霞台中	1年	高橋 和莉	負けん気
		西中	2年	小野崎 綾香	いじめについて
		新町中	1年	鈴木 朝陽	私の夢、そして訴え
		西中	3年	星川 未羽	認知症の祖母と私
		新町中	1年	菅野 舞香	言葉のもつ力
		西中	3年	吉岡 蓮	自分の身の回りに起きた出来事や社会の出来事について

## 6 学びと心の育成事業経費

学力向上・いじめ防止を主な目的とし、地域と学校に誇りと夢をもって、たくましく次代を切り開いていく児童・生徒を育成するため、各学校の裁量を生かした「学びと心の育成事業」を通して、郷土に根ざした特色ある教育活動の推進を図った。

### 小学校

学校名	事業名	実施内容
第一小	①「学校ふるさと」事業 ②「学力向上」事業 ③「登校支援」事業	・園芸体験・自然体験 ・伝統文化体験（楽器） ・学力向上・読書活動 ・登校支援
第二小	「学校大好き、地域大好き、青梅大好き」かがやけ 二小の子！	・学力向上・読書活動 ・いじめ防止・登校支援 ・自然体験
第三小	①表現活動の推進 ②起業家教育の推進 ③読書活動の推進 ④理数教育の充実 ⑤環境教育の充実 ⑥学校環境の改善整備	・学力向上・環境整備 ・読書活動 ・音楽体験（和太鼓、管楽器、ダンス） ・講演会の実施
第四小	豊かな情操とたくましい体をはぐくむ教育活動の充実	・音楽体験（金管バンド演奏） ・園芸体験・清掃活動 ・読書活動・学力向上 ・体力向上
第五小	「五小 学びと心プロジェクト」～よさを輝かせ、ともに高め合う子の育成～	・学力向上 ・園芸体験・環境整備 ・いじめ防止・登校支援
第六小	見せてやろう！三田っ子の底力を～知・徳・体のバランスのとれた児童の育成を目指して～	・学力向上 ・いじめ防止・登校支援 ・体力向上・環境整備 ・伝統文化体験（お囃子等）
第七小	学力向上を目指し、特色あふれる地域との連携を活かしたプロジェクト	・学力向上 ・防災教育（避難所開設訓練） ・自然体験 ・読書活動（読み聞かせ）
成木小	感性豊かな成木っ子～豊かな感性を養う活動を通して、生き生きと表現する子供を育てる～	・音楽体験（ブラスバンド講師招へい） ・自然体験
河辺小	輝け河辺っ子 地域とともに	・学力向上 ・環境教育（自然体験、愛鳥博士） ・体力向上 ・教育相談室の整備
新町小	「学び高めあう新町の子供たち」学力向上を図るとともに、豊かな心、健やかな体力を育み、たくましく生きる力を高める	・学力向上 ・環境整備 ・農業、園芸体験

学校名	事業名	実施内容
霞台小	子供の学びと心を豊かにする教育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ対策（QUテストの実施）</li> <li>・学力向上</li> <li>・キャリア教育</li> <li>・環境整備</li> </ul>
友田小	友田小学校学びと心の育成プラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上・体力向上</li> <li>・環境整備</li> <li>・読書活動</li> </ul>
今井小	今井小学校 学と心の育成事業 「10年先を生きる力の育成」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上・読書活動</li> <li>・いじめ防止・登校支援</li> <li>・音楽体験（金管バンド、楽器の充実）</li> <li>・自然体験</li> </ul>
若草小	「豊かな学びの場 わかくさ」づくりプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽体験（金管バンド・和楽器）</li> <li>・いじめ防止・登校支援</li> <li>・環境整備</li> <li>・図工活動</li> </ul>
藤橋小	「学び高めあいをする藤橋小の子供たち」学力向上を図るとともに、豊かな心、健やかな体力をはぐくみ、たくましく生きる力を高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上・環境教育</li> <li>・読書活動</li> <li>・いじめ防止・登校支援</li> <li>・環境整備</li> </ul>
吹上小	児童の体験を重視した学力・体力向上と心の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上・体力向上</li> <li>・園芸活動</li> </ul>
東小	心わくわく「おしゃれ村」体験2020	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業・園芸体験</li> <li>・調理・創作活動</li> <li>・学力向上</li> </ul>

中学校

学校名	事業名	実施内容
第一中	青梅一中 学びと心の育成事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育</li> <li>・環境整備</li> </ul>
第二中	学びと心の育成事業推進委員会 「育もう輝く希望の芽」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書活動</li> <li>・登校支援（仲間たちと励ましあう活動）</li> </ul>
第三中	キラリ振る舞い三中生育成プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上・読書活動</li> <li>・農業、園芸体験</li> <li>・いじめ防止（心の相談アンケート）</li> <li>・環境整備</li> </ul>
西中	青梅市立西中学校・学びと心の育成事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育・保健教育</li> <li>・体力向上</li> </ul>
第六中	主体的・対話的で深い学びを実現し、若竹のように伸びゆく生徒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上</li> <li>・自然、農業体験</li> <li>・伝統文化体験（琴奏法、茶道）</li> </ul>
第七中	七中心豊かな人材育成活動（学力向上、環境整備、体力向上・地域の人材活用）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上</li> <li>・福祉体験</li> <li>・環境教育</li> <li>・体力向上</li> </ul>

学校名	事業名	実施内容
霞台中	青梅市立霞台中学校 「花いっぱい笑顔いっぱい霞台」活動	・学力向上 ・園芸体験
吹上中	吹上中学校学びと心の育成事業「居場所づくり、絆づくり、感性豊かな吹中生の育成」	・読書活動 ・環境整備・健全育成 ・環境教育 ・いじめ防止・登校支援
新町中	自分も他人も大切に する心のふれあう新町中 学校	・学力向上 ・環境美化 ・伝統文化体験（茶道）
泉中	Heart & Learn IZUMI	・環境教育（植栽、ビオトープ観察） ・読書活動 ・学力向上
東中	学びと心の体験活動	・体力向上（剣道講師） ・園芸体験 ・講演会の実施（福祉体験）

## 7 学力向上対策事業経費

### (1) 放課後等の補習事業「ステップアップクラス」

「青梅市学力向上対策事業」として、小学校16校・中学校10校で、緊急事態宣言期間を除く、放課後または長期休業等に「ステップアップクラス」を実施した。

### (2) 土曜日の補習事業「サタデークラス」

「青梅市学力向上対策事業」として、国語、算数、数学等の補習教室を民間事業者に委託して実施する「サタデークラス」を開催した。会場は市民センター等6か所とし、対象者は青梅市在住の小学4年生から中学3年生までとした。緊急事態宣言期間を除き、各会場で土曜日に年間10～13回ずつ実施し、延べ1,614人の参加があった。

#### 「サタデークラス」会場別参加人数

実施場所	実施回数	延べ参加人数	実施場所	実施回数	延べ参加人数
文化交流センター	12	248	新町市民センター	13	293
長淵市民センター	13	311	河辺市民センター	13	308
大門市民センター	13	239			
梅郷市民センター	10	215	合 計		1,614

○ 学 校 給 食 費 ( 1, 0 4 1, 2 3 2, 2 5 2 円) [学校給食センター]

1 給食センター経費

(1) 青梅市立学校給食センター運営審議会委員 開催回数 2回

氏 名	選 出 区 分	備 考	氏 名	選 出 区 分	備 考
◎ 百 合 陽 子	教育委員会委員		清 水 省 吾	知 識 経 験 者	
○ 中 嶋 太	学 校 長	3. 31退任	片 平 潤 一		
関 谷 望		4. 1就任	田 中 三 広		
高 橋 章 次			大 越 浩	7. 3退任	
青 山 隆 志			興 石 隆 行	7. 3退任	
				萩 原 勝	7. 4就任
			鈴 木 秀 紀	7. 4就任	

任期：令和元年9月1日～令和3年8月31日 ◎は会長、○は副会長

(2) 給食人員、学校給食費（保護者負担額）等 (人員は令和2年5月1日現在)

区 分	給 食 人 員	月 額	年 間 給 食 基 本 回 数	給 食 期 間	
小 学 校	6, 487 人	低 学 年	3, 850 円	134 回	6. 15～3. 24
		中 学 年	4, 100 円		
		高 学 年	4, 350 円		
中 学 校	3, 551 人	4, 900 円	130 回	6. 8～3. 24	
合 計	10, 038 人	新型コロナウイルス感染拡大防止対策による学校臨時休業に伴い4月・5月の給食を休止した。また、市内小・中学校の土曜日の授業に対応し、月1回第2土曜日に給食を提供した。年間給食基本回数については給食期間に合わせ変更した。			

(3) 給食材料費 (単位：日、千円)

給 食 提 供 期 間	学 校 給 食 セ ン タ ー 稼 働 日 数	金 額
6月8日～3月24日 ただし、小学校は6月15日開始	190	437, 802

(4) 補助金 (単位：千円)

区 分	内 容	交 付 額
学校給食費返還等事業補助金	学校休校に伴い発生した、給食食材のキャンセル費等に要した経費	7, 279

## 2 新学校給食センター建設経費

債務負担行為にもとづく業務委託

(単位：千円)

委託名称	委託内容	契約金額	受注者	契約工期
青梅市学校給食センター整備事業支援業務委託	新学校給食センター整備事業を適切に実施していくため、発注に必要な書類の作成および整備事業の契約締結にいたるまでの支援業務	24,200	パシフィックコンサルタンツ株式会社 首都圏本社	2.11.16 ～4.3.30

## ○ 私立学校費 (429,063,694円)

[子育て推進課]

私立幼稚園等の園児の保護者の負担を軽減し、幼児教育の振興を目的として園児の保護者に対し補助金を交付した。

幼稚園教員の資質向上を目的とした研修、心を育む保育の充実・向上を目的とした事業、教材等の整備など、幼児教育の充実を図ることを目的とした補助金、および私立幼稚園への就園促進を目的とした未就園児事業を行うための補助金を私立幼稚園協会に交付した。

市内私立幼稚園（幼稚園型認定こども園を含む）（令和2年5月1日現在、単位：人）

園名	設置主体	園長名	所在地	園児定員	実員
青梅幼稚園	学校法人	横山牧人	河辺町7-2-3	100	55
四恩幼稚園	学校法人	築山滋	天ヶ瀬町1032	330	95
福島学園幼稚園	学校法人	福島賢	千ヶ瀬町6-763	400	98
聖母幼稚園	学校法人	富永七重	勝沼1-197-1	150	40
青梅あけぼの幼稚園	学校法人	大谷唯信	梅郷3-904-3	100	25
ねむのき幼稚園	個人	塩野治	新町2-33-4	245	102
合 計				1,325	415

※園児定員は幼稚園部分のみの定員を記載。

## 1 私立幼稚園助成経費

(1) 青梅市私立幼稚園協会補助金

(単位：千円)

名 称	補助金額	備 考
私立幼稚園協会教員研修補助金	1,200	教員1人当たり24,000円×50人
私立幼稚園協会心を育む保育実施補助金	766	施設割 1園100,000円×6園 園児数割 1人400円×415人
私立幼稚園教育環境整備費補助金	932	施設割 1園100,000円×6園 園児数割 1人800円×415人
私立幼稚園就園促進事業補助金	1,104	事業1回 当たり 8,000円×138回

## (2) 青梅市私立幼稚園等園児の保護者に対する補助金

## ア 私立幼稚園等園児保護者補助金

私立幼稚園、認定こども園または幼稚園類似の幼児施設の園児の保護者の経済的負担を軽減するため、市民税の所得割額等に応じ6階層に分類し、補助金を交付した。

## (ア) 総括表

(単位：人、千円)

区 分	対象園児数	市 補 助	都 補 助	合 計	
市 内	幼 稚 園	109	4,438	2,683	7,121
	新制度移行幼稚園	244	7,145	5,468	12,613
	認 定 こ ど も 園	114	4,528	2,599	7,127
	類 似 幼 児 施 設	30	3,399	7,430	10,829
市 外	幼 稚 園	315	10,981	6,001	16,982
	新制度移行幼稚園	7	0	0	0
	認 定 こ ど も 園	16	154	282	436
	類 似 幼 児 施 設	4	187	0	187
合 計	839	30,832	24,463	55,295	

## (イ) 所得階層別交付内訳

(単位：人、千円)

階 層 区 分	対 象 園 児 数	交 付 額
生 活 保 護 世 帯 市民税所得割非課税世帯のうち ひとり親等世帯	17	1,353
市民税所得割非課税世帯 市民税所得割額が77,100円以下の 世帯のうち、ひとり親等世帯	57	2,122
市 民 税 所 得 割 額 が 77,100 円 以 下 の 世 帯	49	3,970
市 民 税 所 得 割 額 が 211,200 円 以 下 の 世 帯	430	28,578
市 民 税 所 得 割 額 が 256,300 円 以 下 の 世 帯	116	8,150
市 民 税 所 得 割 額 が 256,300 円 を 超 え る 世 帯	170	11,122
合 計	839	55,295

## (ウ) 年齢別交付内訳

(単位：人)

年 齢	市 内				市 外				合 計
	幼稚園	新制度 幼稚園	認 定 こども園	類 似 幼児施設	幼稚園	新制度 幼稚園	認 定 こども園	類 似 幼児施設	
5 歳 児	41	77	51	10	97	3	6	1	286
4 歳 児	34	71	32	8	98	2	6	3	254
3 歳 児	23	71	28	9	86	2	3	0	222
満 3 歳 児	11	25	3	3	34	0	1	0	77
合 計	109	244	114	30	315	7	16	4	839

## イ 私立幼稚園等入園料補助金

私立幼稚園、認定こども園または幼稚園類似の幼児施設の園児の保護者の入園時の経済的負担を軽減するため、入園料補助金を交付した。(単位：人、千円)

年 齢	対 象 園 児 数	補 助 単 価	交 付 額
5 歳 児	4	10,000円	38
4 歳 児	19		182
3 歳 児	129		1,280
満 3 歳 児	74		722
合 計	226		2,222

※ ただし、入園料が補助金額を下回る場合には、入園料の額を限度額とする。

## ウ 幼稚園施設等利用費補助金

私立幼稚園等の園児の保護者の保育料の負担を軽減するため、幼稚園施設等利用費補助金を交付した。(対象となる園児は、幼稚園に通園する園児で、新制度に移行した幼稚園、認定こども園および幼稚園類似の幼児施設に通園する園児は対象とならない。)(単位：人、千円)

年 齢	対 象 園 児 数	補 助 単 価	交 付 額
5 歳 児	138	308,400円	41,279
4 歳 児	132		39,035
3 歳 児	109		31,453
満 3 歳 児	45		7,151
合 計	424		118,918

※ ただし、保育料が補助金額を下回る場合には、保育料の額を上限とする。

## エ 実費徴収にかかる補足給付事業費補助金

私立幼稚園等の園児で、市民税所得割額が77,100円以下の世帯または全所得階層の第3子以降の子どもに対し、給食費および日用品等の購入等に要する費用の一部を月額4,500円の範囲で交付した。(対象となる園児は、幼稚園に通園する園児で、新制度に移行した幼稚園、認定こども園および幼稚園類似の幼児施設に通園する園児は対象とならない。)

(単位：人、千円)

年 齢	対 象 園 児 数	交 付 額
5 歳 児	9	142
4 歳 児	15	411
3 歳 児	9	220
満 3 歳 児	3	77
合 計	36	850

オ 預かり保育利用費補助金

私立幼稚園等の園児の保護者の預かり保育料の負担を軽減するため、保育の必要性の認定を受けた園児を対象に、利用日数に応じて日額 450 円、月額 11,300 円（満 3 歳児は非課税世帯のみ対象で月額 16,300 円）の範囲で補助金を交付した。

(単位：人、千円)

年 齢	対 象 園 児	交 付 額
5 歳 児	93	3,211
4 歳 児	58	1,802
3 歳 児	46	1,489
満 3 歳 児	0	0
合 計	197	6,502

2 私立幼稚園事業経費

施設型給付費負担金

(単位：人、千円)

区 分	延 人 数	金 額	
1 号 認 定	青 梅 幼 稚 園	655	59,474
	青 梅 あ け ぼ の 幼 稚 園	325	87,723
	四 恩 幼 稚 園	1,232	44,220
	聖 母 幼 稚 園	475	32,903
	市 外 幼 稚 園	84	7,327
合 計	2,771	231,647	

(歳出 10 教 育 費)

### 3 新型コロナウイルス対策幼児教育従事者応援事業経費

新型コロナウイルス感染症の拡大下において、感染リスクが高い幼児教育事業を実施する幼稚園および幼稚園類似の幼児施設で、必要な感染症対策を行いながら業務に従事した方の心労を見舞い支援するための応援金（1人につき10,000円）を、施設を通じて当該従事者に対して支給した。

（単位：人、千円）

園名	対象人数	金額
青梅幼稚園	14	140
四恩幼稚園	21	210
福島学園幼稚園	15	150
聖母幼稚園	12	120
青梅あけぼの幼稚園	16	160
もみの木幼児園	10	100
合計	88	880

### 4 新型コロナウイルス対策私立幼稚園支援事業経費

安心安全な幼児教育環境の整備のために私立幼稚園が実施した新型コロナウイルス感染症対策事業に対し、補助金を交付した。

（単位：千円）

園名	補助金額	購入備品等
青梅幼稚園	920	マスク、消毒液、体温計、 空気清浄機等
四恩幼稚園	995	
福島学園幼稚園	995	
聖母幼稚園	67	
青梅あけぼの幼稚園	579	
ねむのき幼稚園	719	
合計	4,275	

小 学 校 費

1, 883, 005, 927円

○ 小 学 校 総 務 費 ( 998, 493, 753円)

[教育総務課]

1 各 学 校 管 理 経 費

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により年度内に完成しなかった卒業アルバムを経費として各学校管理経費印刷製本費のうち一部経費を翌年度繰越とした。

翌年度繰越事業（事故繰越）

(単位：千円)

学 校 名	予 算 額	2 年 度 支 払 額	翌 年 度 繰 越 額	計
第 三 小	11	0	11	11
成 木 小	22	0	22	22
若 草 小	11	0	11	11
合 計	44	0	44	44

2 教 育 振 興 経 費

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により事業が完了しなかった学校について、翌年度繰越とした。

翌年度繰越事業（繰越明許費）

(単位：千円)

事 業 名 称	予 算 額	2 年 度 支 払 額	翌 年 度 繰 越 額	計
卒 業 ア ル バ ム 等 保 護 者 負 担 助 成 金	2,198	1,696	482	2,178

3 学 校 施 設 整 備 経 費

(1) 委 託 業 務

(単位：千円)

委 託 名 称	委 託 内 容	契 約 金 額	受 注 者	契 約 期 間
第 一 小 学 校 ほ か 5 校 特 別 教 室 等 空 調 機 整 備 設 計 委 託	第一小、第五小、第七小、 友田小、今井小、吹上小の 特別教室、管理諸室等の空 調機整備に伴う実施設計	8,250	㈱大誠建築設計事 務所	6.19 ～12.15
河 辺 小 学 校 ほ か 3 校 ト イ レ 改 修 設 計 委 託	河辺小、霞台小、若草小、 新町中の校舎の既存トイレ の改修に伴う実施設計（小 学校分）	11,871	㈱S・Kアート デザインオフィス	7.3 ～3.18
第 五 小 学 校 校 舎 屋 上 防 水 お よ び 外 壁 改 修 設 計 委 託	校舎の屋上防水および外壁 改修の設計	3,300	㈱大誠建築設計事 務所	11.27 ～3.18
吹 上 小 学 校 屋 内 運 動 場 外 壁 改 修 に 伴 う ア ス ベ ス ト 含 有 調 査 委 託	屋内運動場の外壁仕上げ塗 材等のアスベスト含有分析 調査	88	環境リサーチ㈱	7.17 ～8.18
河 辺 小 学 校 ほ か 4 校 ア ス ベ ス ト 含 有 調 査 委 託	河辺小、霞台小、若草小、 新町中、吹上中のアスベ スト含有が疑われる建材のア スベスト含有分析調査（小 学校分）	738	環境保全㈱ 東京支店	9.15 ～11.13

(歳出 10 教 育 費)

委託名称	委託内容	契約金額	受注者	契約期間
第一小学校ほか7校 アスベスト含有調査委託	第一小、第五小、第七小、 河辺小、友田小、今井小、 吹上小、第一中のアスベス ト含有が疑われる建材のア スベスト含有分析調査（小 学校分）	1,420	中外テクノス(株) 東京支社	11.18 ～1.15
第三小学校屋内運動場 アスベスト含有調査委託	屋内運動場の外部仕上げの アスベスト含有分析調査	99	環境保全(株) 東京支店	2.22 ～3.30
第一小学校ほか2校 受変電設備PCB 含有調査委託	第一小、第四小、第五小の PCB含有が疑われる変圧 器のPCB含有分析調査	83	(一財)関東電気保 安協会 多摩事業本部	2.12 ～3.30
合計	8件	25,849		

(2) 整備工事

(単位：千円)

工事名称	工事内容	契約金額	受注者	契約工期
吹上小学校 トイレ改修工事	校舎内トイレの床、壁、天 井、トイレブース、給排水 衛生設備等の改修工事	107,008	豊友建設(株)	6.26 ～2.12
吹上小学校トイレ改修に 伴う外壁等改修工事	トイレの改修に伴う屋上防 水および外壁改修工事	6,345	(株)菊地塗装	7.21 ～1.15
第六小学校屋内運動場 非構造部材 落下防止対策工事	屋内運動場の照明器具、バ スケットゴール、舞台吊物 等の落下防止対策およびガ ラスの飛散防止対策工事	4,345	(株)山崎工務店	11.17 ～2.19
第六小学校特別教室等 空調機整備工事	特別教室等への空調機の設 置、老朽化した管理諸室の 空調機改修および受変電設 備等の改修工事	55,862	飯沼電気(株) 西支店	8.4 ～12.14
若草小学校特別教室等 空調機整備工事	特別教室等への空調機の設 置、老朽化した管理諸室の 空調機改修および受変電設 備等の改修工事	52,267	(株)青和施設工業所	8.4 ～12.14
新町小学校特別教室等 空調機整備工事	特別教室等への空調機の設 置、老朽化した管理諸室の 空調機改修および受変電設 備等の改修工事	38,625	師岡設備工業(株)	8.7 ～12.14
霞台小学校特別教室等 空調機整備工事	特別教室等への空調機の設 置、老朽化した管理諸室の 空調機改修および受変電設 備等の改修工事	38,427	(株)岩沢設備工業	8.7 ～12.14
河辺小学校特別教室等 空調機整備工事	特別教室等への空調機の設 置、老朽化した管理諸室の 空調機改修および受変電設 備等の改修工事	61,974	(株)サンキデン	9.15 ～2.26
成木小学校特別教室等 空調機整備工事	特別教室等への空調機の設 置、老朽化した管理諸室の 空調機改修および受変電設 備等の改修工事	45,898	(有)内田電気商会	9.15 ～2.26

工事名称	工事内容	契約金額	受注者	契約工期
第三小学校屋内 消火設備改修工事 以下15件	小学校16校の各種消防設備 改修工事	14,950	(有)新生設備ほか	6.1 ～3.30
吹上小学校屋内運動場 屋根および外壁改修工事	屋内運動場の屋根および外 壁全面改修工事	34,100	岩浪建設(株)	10.20 ～3.12
第五小学校ほか小中学校 6校電気自動車 充電設備工事	第五小、第六小、第七小、 成木小、第三中、第七中、 霞台中への電気自動車充電 用コンセントの設置工事 (小学校分)	1,341	(有)中野電気	8.21 ～11.30
第六小学校屋内運動場 照明LED化工事	屋内運動場アリーナ、舞台、 諸室等の照明改修工事	4,235	(有)中野電気	12.15 ～2.19
合計	27件	465,377		

(3) その他小学校施設整備工事

(単位：千円)

学校名	工事内容	契約金額
第一小	絵本の森空調機設置工事	1,298
第三小	屋内運動場埋設給水管等改修工事ほか2件	2,754
第五小	給水ポンプ取替工事ほか1件	1,672
第六小	校庭整備工事	903
第七小	外壁補修工事ほか1件	968
成木小	サッシ補修工事ほか1件	1,479
河辺小	校庭整備工事ほか2件	2,811
新町小	はん登棒新設工事	1,056
霞台小	校舎北側外壁補修工事	803
友田小	図書室等屋上防水改修工事	3,938
若草小	職員室空調機改修工事ほか1件	707
藤橋小	ブランコ補修工事ほか1件	1,011
吹上小	特別支援学級改修工事ほか1件	1,735
合計	23件	21,135

## (4) 翌年度繰越事業（繰越明許費）

（単位：千円）

工事名称	予算額	2年度支払額	翌年度繰越額	計
霞台小学校 トイレ改修工事	156,388	0	156,388	156,388
若草小学校 トイレ改修工事	139,624	0	139,624	139,624
河辺小学校 トイレ改修工事	151,268	0	151,268	151,268
第一小学校 特別教室等 空調機整備工事	89,250	0	89,250	89,250
第三小学校 特別教室等 空調機整備工事	51,617	0	51,617	51,617
第四小学校 特別教室等 空調機整備工事	79,544	0	79,544	79,544
第五小学校 特別教室等 空調機整備工事	64,502	0	64,502	64,502
友田小学校 特別教室等 空調機整備工事	54,878	0	54,878	54,878
今井小学校 特別教室等 空調機整備工事	70,214	0	70,214	70,214
藤橋小学校 特別教室等 空調機整備工事	76,205	0	76,205	76,205
合計	933,490	0	933,490	933,490

## (5) 前年度繰越事業（繰越明許費）

（単位：千円）

修繕名称	修繕内容	金額	元年度 支払額	2年度 支払額	受注者	契約期間
第一小学校校舎 南面外壁修繕	管理・普通教室棟 および学童棟の 外壁南面の修繕	21,978	0	21,978	㈱原美装	2.1.22 ～4.30

#### 4 新型コロナウイルス対策学習保障等事業経費

感染リスクを最小限にしながら学校を再開し、十分な教育活動を継続するため、学校における感染症対策を徹底しながら児童・生徒の学びの保障をする体制整備を図った。

##### (1) 学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業 (単位：千円)

学 校 名	金 額	主な整備品等
第 一 小	2,996	サーモグラフィ、空気清浄機等
第 二 小	5,358	液晶テレビ、ミストアーチ等
第 三 小	4,431	スポットクーラー、アルコール噴霧器等
第 四 小	3,359	スポットクーラー、液晶テレビ等
第 五 小	3,505	スポットクーラー、サーモグラフィ等
第 六 小	2,548	加湿空気清浄機、石油ストーブ等
第 七 小	2,252	石油ファンヒーター、網戸等
成 木 小	2,380	除湿器、石油ストーブ等
河 辺 小	3,491	紫外線殺菌機、空気清浄機等
新 町 小	5,778	石油ストーブ、モバイルスクリーン等
霞 台 小	3,788	気化式冷風機、加湿器等
友 田 小	2,854	加湿空気清浄機、網戸等
今 井 小	3,568	指導書セット、プロジェクター等
若 草 小	5,286	プロジェクター、石油ストーブ等
藤 橋 小	2,450	加湿器、加湿空気清浄機等
吹 上 小	2,319	液晶テレビ、気化式冷風機等
東 小	1,984	プロジェクター、電子黒板等
合 計	58,347	

##### (2) 新型コロナウイルス対策学習保障等修繕 (単位：千円)

修 繕 名 称	修 繕 内 容	金 額	受 注 者	契 約 期 間
第一小学校ほか15校 手洗い用水栓修繕	感染症対策のため手洗い場 等における蛇口ハンドルを レバー式等に交換	6,738	(株)青和施設 工業所	2.2~3.30

#### 5 新型コロナウイルス対策学校教育活動継続支援事業経費

感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するため、学校における感染症対策、教職員の研修支援、児童・生徒の学びの保障をする体制の整備を促進する。

##### 翌年度繰越事業 (繰越明許費) (単位：千円)

事業名称	予算額	2年度支払額	翌年度繰越額	計
新型コロナウイルス 対策学校教育活動 継続支援事業	19,200	0	19,200	19,200

○ 小 学 校 学 務 費 ( 1 1 4 , 9 6 4 , 2 1 1 円 )

[学務課]

1 保健衛生経費

(1) 各種検診実施状況

(単位：人)

検 診 名	対 象	受 診 者	受 診 結 果 等
結 核 検 診	全 学 年	5,758	精密検査受診者 5 要医療・観察 0
心 臓 病 検 診	1 学 年	873	二次受診者 4 心電図異常 15 要医療・観察 24
耳鼻咽喉科検診	全 学 年	5,736	要医療・観察 2,795
眼 科 検 診	全 学 年	5,729	要医療・観察 1,149
腎臓病等検診 (尿検査)	全 学 年	5,808	二次受診者 53 三次受診者 腎臓病 8 糖尿病 1
歯 科 検 診	全 学 年	5,736	永久歯のう歯経験者 727
脊柱・胸郭および 四肢の検査	全 学 年	5,743	脊柱・胸郭・四肢異常 43
	5 学 年 (モアレ検査)	1,015	二次受診者 8 要医療・観察 53

(2) 独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付制度加入状況

(単位：円、人、千円)

対 象	種 別	掛 金 単 価	加 入 者 数	金 額
全 学 年	一般・準要保護児童	935	5,716	5,344
	要 保 護 児 童	55	122	7
	追 加 加 入 者	935	18	17
	合 計		5,856	5,368

2 就学困難児童就学奨励経費

(単位：人、千円)

区 分	人 員	金 額	区 分	人 員	金 額
学 用 品 費	700	9,037	林 間 ・ 移 動 教 室 費	106	208
特 別 扶 助 費	162	4,881	医 療 費	2	1
給 食 費	697	25,493	通 学 費	5	113
校 外 活 動 費	165	203	合 計		39,936

3 新型コロナウイルス対策就学援助給食費特別支援事業経費

新型コロナウイルス感染症対策による学校の臨時休業および給食の休止期間中の昼食費を支援することを目的に、学校給食費相当額を支給した。

(単位：人、千円)

区 分	人 員	金 額
就学困難児童就学奨励費認定者	632	6,588
特別支援学級就学困難児童就学奨励費認定者	98	517
合 計	730	7,105

#### 4 新型コロナウイルス対策保健衛生経費

コロナ禍において集団感染のリスクを避け、児童が安心して学ぶことができる体制の整備を促進するため、保健衛生用品の整備を図った。

(単位：千円)

区 分	金 額	主 な 整 備 品
消 耗 品 費	7,058	環境消毒用洗剤・スプレーボトル・手袋、ハンドソープ・ハンドソープ容器、非接触体温計、ニトリル手袋等

#### ○ 小学校特別支援教育費 ( 47,227,718円) [学務課]

特別支援学級（知的障害、言語・難聴、情緒障害）経費

##### 1 児童宿泊学習

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施していない。

##### 2 特別支援学級（通級による指導）への通級状況

(令和2年5月1日現在、単位：人)

学校名	種 別	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計
河 辺 小	難 聴	0	0	1	0	2	2	5
	言 語	5	8	9	4	13	10	49
合 計		5	8	10	4	15	12	54

##### 3 特別支援教室の利用状況

(令和2年5月1日現在、単位：人)

学校名	区 分	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計
第 四 小	拠点校	5	4	4	2	4	3	22
第 七 小	巡回校	0	0	2	0	0	2	4
成 木 小	巡回校	0	0	0	0	1	2	3
吹 上 小	巡回校	3	4	3	2	5	2	19
第 六 小	拠点校	2	1	1	2	1	2	9
第 一 小	巡回校	1	1	3	6	3	5	19
第 五 小	巡回校	0	3	6	2	5	8	24
霞 台 小	拠点校	0	3	4	4	3	5	19
新 町 小	巡回校	2	4	4	10	3	3	26
若 草 小	巡回校	2	1	5	2	2	2	14
友 田 小	拠点校	2	1	2	3	2	6	16
第 二 小	巡回校	0	0	1	2	1	2	6
河 辺 小	巡回校	2	5	6	6	8	9	36
藤 橋 小	拠点校	1	3	3	5	4	3	19
第 三 小	巡回校	1	3	3	2	1	1	11
今 井 小	巡回校	3	2	3	1	0	6	15
合 計		24	35	50	49	43	61	262

(歳出 10 教 育 費)

## ○ 小 学 校 指 導 費 ( 7 2 2 , 3 2 0 , 2 4 5 円)

[指導室]

## 1 各種行事实施等経費

各種行事委託

(単位：千円)

区 分	金 額	備 考
音 楽 鑑 賞 教 室	0	6月12日に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止により中止
諸 行 事 児 童 派 遣	477	各種大会参加費等
合 計	477	

## 2 移動教室実施経費

## (1) 移動教室児童保護者助成

小学校6年生を対象とした移動教室の実施に際し、保護者負担の軽減を図るため、助成金を支給した。

目 的 地	実 施 校 数	人 員	助 成 単 価	金 額
御 岳 山	16 校	1,067 人	22,300 円	23,472 千円

※ 小規模校は24,300円

## (2) 移動教室取消料助成

新型コロナウイルス感染拡大防止のため移動教室への参加を取りやめた児童の取消料に対し、保護者負担の軽減を図るため、助成金を支給した。

目 的 地	該 当 校 数	人 員	金 額
御 岳 山	8 校	13 人	161 千円

## 3 教育情報システム経費

## (1) G I G Aスクール構想への対応

市内全小学校に、児童一人一台の学習用パソコンの整備等を行った。

区 分	金 額	説 明
消 耗 品 費	836千円	ヘッドセット、モバイルルータ
備 品 購 入 費	308,706千円	パソコン6,319台

## (2) その他コンピュータ機器の整備

区 分	金 額	説 明
電 子 計 算 機 器 賃 借 料	72,008千円	パソコン、プリンタ等

## 4 教材整備経費

(単位：千円)

区 分	金 額	説 明
教育振興経費	18,885	
備品購入費	18,885	
図書購入費	11,449	図書室用図書（児童・職員用）
教材等購入費	7,436	
教材等	6,705	楽器、ミシン、跳び箱等
理科教育教材	731	理科設備
教材整備経費	1,154	
備品購入費	1,154	記録温度計、体操マット、楽器等
合 計	20,039	

## 5 学校施設整備経費

G I G Aスクール構想の導入に向け、市内全小学校の校内ネットワークの整備を行った。

区 分	金 額	説 明
通信運搬費	571千円	新規インターネット回線利用料
施設管理委託料	875千円	休日等における作業時の施設管理
情報通信設備整備等委託料	242,500千円	スイッチ、アクセスポイント等

(歳出 10 教育費)

中 学 校 費

1, 183, 192, 503円

○ 中 学 校 総 務 費 ( 605, 853, 797円)

[教育総務課]

1 各学校管理経費

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により年度内に完成しなかった卒業アルバムの経費として各学校管理経費印刷製本費のうち一部経費を翌年度繰越とした。

翌年度繰越事業（事故繰越）

（単位：千円）

学 校 名	予算額	2年度支払額	翌年度繰越額	計
第 一 中	14	0	14	14
西 中	10	0	10	10
第 六 中	23	0	23	23
吹 上 中	18	0	18	18
新 町 中	6	0	6	6
泉 中	9	0	9	9
合 計	80	0	80	80

2 教育振興経費

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により事業が完了しなかった学校について、翌年度繰越とした。

翌年度繰越事業（繰越明許費）

（単位：千円）

事業名称	予算額	2年度支払額	翌年度繰越額	計
卒業アルバム等 保護者負担助成金	4,068	1,201	2,764	3,965

3 学校施設整備経費

(1) 委託業務

（単位：千円）

委 託 名 称	委 託 内 容	契約金額	受 注 者	契約期間
河 辺 小 学 校 ほか3校 トイレ改修設計委託	河辺小、霞台小、若草小、新町中の校舎の既存トイレの改修に伴う実施設計（中学校分）	1,672	㈱S・Kアート デザインオフィス	7.3 ～3.18
河 辺 小 学 校 ほか4校 アスベスト含有調査委託	河辺小、霞台小、若草小、新町中、吹上中のアスベスト含有が疑われる建材のアスベスト含有分析調査（中学校分）	273	環境保全㈱ 東京支店	9.15 ～11.13
第 一 小 学 校 ほか7校 アスベスト含有調査委託	第一小、第五小、第七小、河辺小、友田小、今井小、吹上小、第一中のアスベスト含有が疑われる建材のアスベスト含有分析調査（中学校分）	241	中外テクノス㈱ 東京支社	11.18 ～1.15
合 計	3 件	2,186		

## (2) 整備工事

(単位：千円)

工事名称	工事内容	契約金額	受注者	契約工期
第一中学校 トイレ改修工事	校舎内トイレの床、壁、天井、トイレブース、給排水衛生設備等の改修工事	94,896	島崎建設(株)	6.26 ～12.18
第六中学校 トイレ改修工事	校舎内トイレの床、壁、天井、トイレブース、給排水衛生設備等の改修工事	57,002	井戸鉄建(株)	6.30 ～12.18
吹上中学校 トイレ改修工事	校舎内トイレの床、壁、天井、トイレブース、給排水衛生設備等の改修工事	72,245	井戸鉄建(株)	6.30 ～2.12
第一中学校トイレ改修に伴う外壁等改修工事	トイレの改修に伴う屋上防水および外壁改修工事	3,191	(株)原美装	7.17 ～12.18
吹上中学校トイレ改修に伴う外壁等改修工事	トイレの改修に伴う屋上防水および外壁改修工事	2,273	(株)原美装	7.17 ～11.6
第一中学校ほか8校 消防設備改修工事 以下9件	中学校10校の各種消防設備改修工事	8,540	(株)東新商会ほか	5.11 ～3.30
第五小学校ほか小中学校 6校電気自動車 充電設備工事	第五小、第六小、第七小、成木小、第三中、第七中、霞台中への電気自動車充電用コンセントの設置工事(中学校分)	894	(有)中野電気	8.21 ～11.30
第一中学校ほか2校 電気自動車 充電設備工事	第一中、第二中、西中への電気自動車充電用コンセントの設置工事	1,298	志村電設(株)	10.22 ～12.25
第六中学校ほか3校 電気自動車 充電設備工事	第六中、吹上中、新町中、泉中への電気自動車充電用コンセントの設置工事	1,271	(株)多摩電設	11.24 ～1.8
第一中学校屋上防水 改修工事	管理・普通教室棟、特別教室棟およびトイレ・廊下棟の屋上防水改修工事	30,045	永沢塗装(株)	2.2 ～3.30
西中学校屋上防水 改修工事	管理・教室棟、特別教室棟、渡り廊下棟および屋内運動場棟の屋上防水改修工事	22,690	(株)原美装	2.2 ～3.30
合計	19件	294,345		

(歳出 10 教育費)

## (3) その他中学校施設整備工事

(単位：千円)

学 校 名	工 事 内 容	契 約 金 額
第 一 中	雨漏り補修工事ほか1件	1,562
第 二 中	特別支援教室空調設備整備工事ほか1件	1,552
第 三 中	保健室空調機改修工事ほか3件	3,527
西 中	保健室空調機改修工事ほか1件	1,127
第 七 中	屋外排水管改修工事ほか1件	1,498
霞 台 中	特別支援学級空調機整備工事ほか1件	1,846
泉 中	バスケットゴール補修工事	484
合 計	15 件	11,596

## (4) 翌年度繰越事業（繰越明許費）

(単位：千円)

工 事 名 称	予 算 額	2 年 度 支 払 額	翌 年 度 繰 越 額	計
新 町 中 学 校 トイレ改修工事	93,527	0	93,527	93,527

## 4 新型コロナウイルス対策学習保障等事業経費

感染リスクを最小限にしながら学校を再開し、十分な教育活動を継続するため、学校における感染症対策を徹底しながら児童・生徒の学びの保障をする体制整備を図った。

## (1) 学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業

(単位：千円)

学 校 名	金 額	主 な 整 備 品 等
第 一 中	3,072	テレビモニター、デジタル身長体重計等
第 二 中	4,415	パーテーション、ミニスポットクーラー等
第 三 中	6,082	パーテーション、サーモグラフィ等
西 中	2,598	石油ストーブ、パーテーション等
第 六 中	2,454	加湿空気清浄機、石油ファンヒーター等
第 七 中	2,610	扇風機、フェイスシールド等
霞 台 中	3,361	扇風機、サーモグラフィ等
吹 上 中	2,547	消毒用スタンド、石油ストーブ等
新 町 中	4,440	非接触体温計、消毒液等
泉 中	4,218	液晶テレビ、デジタル身長体重計等
東 中	1,892	扇風機、マウスシールド等
合 計	37,689	

## (2) 新型コロナウイルス対策学習保障等修繕

(単位：千円)

修 繕 名 称	修 繕 内 容	金 額	受 注 者	契 約 期 間
第一中学校ほか9校 手洗い用水栓修繕	感染症対策のため手洗い場等における蛇口ハンドルをレバー式等に交換	2,530	(株)岩沢設備工業	2.9~3.30

5 新型コロナウイルス対策学校教育活動継続支援事業経費

感染リスクを最小限にしながら円滑に教育活動を継続するため、学校における感染症対策、教職員の研修支援、児童・生徒の学びの保障をする体制の整備を促進する。

翌年度繰越事業（繰越明許費）

（単位：千円）

事業名称	予算額	2年度支払額	翌年度繰越額	計
新型コロナウイルス対策学校教育活動継続支援事業	11,200	0	11,200	11,200

○ 中学校学務費 （ 80,650,383円）

[学務課]

1 保健衛生経費

(1) 各種検診実施状況

（単位：人）

検診名	対象	受診者	受診結果	等
結核検診	全学年	3,044	精密検査受診者 0	要医療・観察 0
心臓病検診	1学年	1,043	二次受診者 6	心電図異常 16 要医療・観察 10
耳鼻咽喉科検診	全学年	2,916		要医療・観察 1,647
眼科検診	全学年	2,919		要医療・観察 680
腎臓病等検診 (尿検査)	全学年	2,958	二次受診者 97	三次受診者 腎臓病 6 糖尿病 1
歯科検診	全学年	2,919		永久歯のう歯経験者 921
脊柱・胸郭および 四肢の検査	全学年	2,945		脊柱・胸郭・四肢異常 61
	1学年 (モアレ検査)	989	二次受診者 14	要医療・観察 126

(2) 独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付制度加入状況

（単位：円、人、千円）

対象	種別	掛金単価	加入者数	金額
全学年	一般・準要保護生徒	935	3,007	2,811
	要保護生徒	55	84	5
	追加加入者	935	2	2
	合計		3,093	2,818

2 就学困難生徒就学奨励経費

（単位：人、千円）

区分	人員	金額	区分	人員	金額
学用品費	411	9,698	修学旅行支度金	33	254
特別扶助費	271	9,774	林間・移動教室費	0	0
給食費	390	17,819	医療費	1	0
校外活動費	70	110	通学費	11	320
修学旅行費	42	1,809	合計		39,784

（歳出 10 教育費）

### 3 新型コロナウイルス対策就学援助給食費特別支援事業経費

新型コロナウイルス感染症対策による学校の臨時休業および給食の休止期間中の昼食費を支援することを目的に、学校給食費相当額を支給した。

(単位：人、千円)

区 分	人 員	金 額
就学困難生徒就学奨励費認定者	380	4,178
特別支援学級就学困難生徒就学奨励費認定者	57	322
合 計	437	4,500

### 4 新型コロナウイルス対策保健衛生経費

コロナ禍において集団感染のリスクを避け、生徒が安心して学ぶことができる体制の整備を促進するため、保健衛生用品の整備を図った。

(単位：千円)

区 分	金 額	主 な 整 備 品
消 耗 品 費	4,209	環境消毒用洗剤・スプレーボトル・手袋、ハンドソープ・ハンドソープ容器、非接触体温計、ニトリル手袋等

○ 中学校特別支援教育費 ( 29,083,745円) [学務課]

特別支援学級(知的障害、情緒障害)経費

#### 1 生徒宿泊学習

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施していない。

#### 2 特別支援教室の利用状況

(令和2年5月1日現在、単位：人)

学校名	区 分	1 年	2 年	3 年	合 計
第一中	拠点校	3	3	4	10
第二中	巡回校	2	3	1	6
西 中	巡回校	14	4	3	21
第七中	巡回校	0	0	0	0
第三中	拠点校	3	6	5	14
第六中	巡回校	1	0	0	1
霞台中	巡回校	4	0	3	7
吹上中	巡回校	6	2	2	10
新町中	巡回校	2	4	4	10
泉 中	巡回校	3	0	0	3
合 計		38	22	22	82

## 1 各種行事实施等経費

## (1) 各種行事委託

(単位：千円)

区 分	金 額	備 考
音 楽 鑑 賞 教 室	0	7月10日に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
修 学 旅 行	331	京都・奈良方面等
生 徒 体 育 行 事	0	7月7日に中学校陸上競技大会、11月11日に中学校駅伝大会を、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
諸 行 事 生 徒 派 遣	2,847	中学校体育連盟・中学校吹奏楽連盟主催の全国大会、都大会、第8ブロック大会等
合 計	3,178	

## (2) 修学旅行取消料助成

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした修学旅行の取消料に対し、保護者負担の軽減を図るため、助成金を支給した。

区 分	該 当 校 数	人 員	金 額
修 学 旅 行	4 校	377 人	1,940 千円
代 替 旅 行	3 校	375 人	457 千円
合 計	7 校	752 人	2,397 千円

## 2 移動教室実施経費

## (1) 移動教室生徒保護者助成

中学校の移動教室に際し、保護者負担の軽減を図るため、助成金を支給しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため移動教室は全て中止とした。

区 分	実 施 校 数	人 員	助 成 単 価	金 額
中 学 校	0 校	0 人	2,900 円	0 千円

## (2) 移動教室取消料助成

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした移動教室の取消料に対し、保護者負担の軽減を図るため、助成金を支給した。

区 分	該 当 校 数	人 員	金 額
中 学 校	2 校	62 人	70 千円

### 3 教育情報システム経費

#### (1) G I G Aスクール構想への対応

市内全中学校に、生徒一人一台の学習用パソコンの整備等を行った。

区 分	金 額	説 明
消 耗 品 費	272千円	ヘッドセット、モバイルルータ
備 品 購 入 費	164,197千円	パソコン3,361台

#### (2) その他コンピュータ機器の整備

区 分	金 額	説 明
電 子 計 算 機 器 賃 借 料	37,846千円	パソコン、プリンタ等

### 4 教材整備経費

教材備品の整備

(単位：千円)

区 分	金 額	説 明
教育振興経費	16,152	
備品購入費	16,152	
図書購入費	9,769	図書室用図書（生徒・職員用）
教材等購入費	6,383	
教材等	5,899	楽器、卓球台、卓上糸のこ盤等
理科教育教材	484	理科設備
教材整備経費	1,300	
備品購入費	1,300	ミシン、生物顕微鏡、楽器等
合 計	17,452	

### 5 学校施設整備経費

G I G Aスクール構想の導入に向け、市内全中学校の校内ネットワークの整備を行った。

区 分	金 額	説 明
通 信 運 搬 費	383千円	新規インターネット回線利用料
施 設 管 理 委 託 料	601千円	休日等における作業時の施設管理
情 報 通 信 設 備 整 備 等 委 託 料	187,600千円	スイッチ、アクセスポイント等

## 教 職 員

### 教職員異動状況

#### 1 校長

##### (1) 内転

発令年月日	新 所 属 校	氏 名	旧 所 属 校	備 考
2. 4. 1	第 四 小	藤 原 輝 正	河 辺 小	
〃	河 辺 小	関 谷 望	今 井 小	昇 任
〃	霞 台 小	佐 藤 広 明	第 三 小	
〃	友 田 小	妹 尾 達 実	第 五 小	昇 任
〃	第 二 中	青 山 隆 志	霞 台 中	再任用
〃	第 三 中	高 橋 章 次	第 二 中	再任用
〃	第 六 中	吉 田 稔	東 中	再任用
〃	東 中	川 窪 公 夫	第 三 中	再任用

##### (2) 転入

発令年月日	新 所 属 校	氏 名	旧 所 属 校	備 考
2. 4. 1	第 三 小	平 崎 一 美	杉並区教育委員会	
〃	霞 台 中	神 野 孝 彦	練馬区立開進第二中	昇 任

##### (3) 退職

発令年月日	所 属 校	氏 名	備 考
3. 3. 31	霞 台 小	佐 藤 広 明	定年退職・令和3年度再任用
〃	友 田 小	妹 尾 達 実	定年退職・令和3年度再任用
〃	今 井 小	増 田 優 子	再 任 用 退 職
〃	吹 上 小	富 田 清	再 任 用 退 職

#### 2 副校長

##### (1) 内転

発令年月日	新 所 属 校	氏 名	旧 所 属 校	備 考
2. 4. 1	第 五 小	相 馬 史 朗	藤 橋 小	

##### (2) 転入

発令年月日	新 所 属 校	氏 名	旧 所 属 校	備 考
2. 4. 1	第 一 小	小 瀬 水 陽 子	東大和市立第二小	昇 任
〃	第 六 小	田 澤 直 子	昭島市立拝島第一小	昇 任
〃	第 七 小	野 田 喜 嗣	武蔵村山市立雷塚小	昇 任
〃	成 木 小	山 根 祐 哉	奥多摩町立氷川小	
〃	今 井 小	時 計 祐 司	小金井市立小金井第一小	昇 任
〃	藤 橋 小	樋 口 純 子	国立市立国立第六小	
〃	西 中	梅 田 尚 之	八王子市立第一中	
〃	第 七 中	友 部 薫	あきる野市立増戸中	
〃	吹 上 中	塚 原 忍	檜原村立檜原中	

## (3) 転出

発令年月日	新 所 属 校	氏 名	旧 所 属 校	備 考
2. 4. 1	三鷹市立第七中	廣瀬 尊貴	西 中	
〃	福生市立福生第三中	小野 昌彦	吹 上 中	
〃	東村山市立東村山第七中	森 通政	泉 中	昇任

## 3 4級職（主幹・指導教諭）

（単位：人）

	自校昇任	内転昇任	内 転	転 入	転 出	退 職	備 考
小 学 校	4	1	1	2	0	1	
中 学 校	7	0	1	1	0	4	

※ 退職は、令和3年3月31日付発令

## 4 主任教諭

（単位：人）

	自校昇任	内転昇任	内 転	転 入	転 出	退 職	備 考
小 学 校	6	0	5	8	12	2	
中 学 校	8	0	1	7	8	5	

※ 退職は、令和3年3月31日付発令

## 5 教諭、事務職員および栄養士

（単位：人）

		内 転	転 入	転 出	新 採	退 職	備 考
教 諭	小学校	4	16	26	14	4	
	中学校	0	12	18	20	3	
事 務 員	小学校	2	2	1	1	1	
	中学校	1	2	1	0	0	
栄 養 士		0	1	0	0	0	
合 計		7	33	46	35	8	

※ 新採は令和2年4月1日付、令和2年4月6日付発令、退職は令和2年4月30日付、令和2年10月9日付、令和2年12月31日付、令和3年3月31日付発令

社会教育費

773,862,292円

○ 社会教育費 (83,471,797円) [社会教育課]

1 社会教育委員経費

(1) 社会教育委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
藤原輝正	学校教育		飛田雪人	社会教育	5.13退任
神山敬章			山川貴弘		5.14就任
市川幸次	社会教育		○金子万里子	家庭教育	
栗原郁夫			横手多喜子		
吉野康一			◎宮野良一	学識経験者	
		園田陽子			

任期：令和2年5月14日～令和4年5月13日 ◎は議長、○は副議長

(2) 社会教育委員会議開催回数 8回

(3) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会

令和2年度に会長市を務めた。

ア 役員会 5回 理事会 2回

イ ブロック研修会

(単位：人)

期日	ブロック	内容	テーマ	会場	参加者
10.24	第1ブロック	講演会等	つながっているんだ！	奥多摩町 奥多摩文化会館	8
11.14	第3ブロック	講演会等	つながりでいいことふくらむ地域社会～コロナ禍での活動を通じた学び～	町田市役所ほか (オンライン併用)	4

ウ 交流大会

期日	内容	テーマ	会場	参加者
12.12	各ブロック研修会 実施報告等	開かれ つながる社会教育の推進 ～住みよい地域づくりに多様な人材と連携を～	文化交流センター	新型コロナウイルス感染拡大防止のため 中止

エ 令和3年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会実行委員会 4回

(歳出 10 教育費)

(4) 関東甲信越静社会教育研究大会

期 日	内 容	研 究 主 題	会 場	参 加 者
11.12	講 演 会 シンポジウム等	新しい社会教育をデザインする ～つなぎ はぐくみ 響きあう 生涯学習社会の実現～	新 潟 県 長 岡 市 シティホールプラザ 「アオーレ長岡」	新型コロナウ イルス感染拡 大防止のため 新潟県外は 誌 上 開 催

2 青少年委員経費

(1) 青少年委員

氏 名	選 出 学 校 区	備 考	氏 名	選 出 学 校 区	備 考
内 田 紀 弘	第 一 小		岡 部 真 紀	河 辺 小	
広 瀬 善 規	第 二 小		阿 多 洋 和	新 町 小	
増 田 透	第 三 小		○ 高 野 一 樹	霞 台 小	
豊 田 奨	第 四 小		奈良野佳世子	友 田 小	
◎ 菅 尚 美	第 五 小		中 山 誠 一	今 井 小	
渡 辺 淳 一	第 六 小		古 賀 勝	若 草 小	
小 野 寺 洋 智	第 七 小		○ 佐 藤 直 美	藤 橋 小	
白 井 敬 子	成 木 小		樋 口 篤 史	吹 上 小	

任期：令和元年5月1日～令和3年4月30日 ◎は会長、○は副会長

(2) 青少年委員協議会開催回数 11回

(3) 研修会

ア 委員研修

期 日	内 容	会 場	参 加 者
9.26	管 内 研 修	文 化 交 流 セ ン タ ー	15人

イ 第3ブロック研修

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(4) 自主事業

期 日	事 業 名	会 場	参 加 者
11.22	集 ま れ お う め っ 子 ! 木 こ り の 巻	あ ま が さ す の 森	19人

### 3 生涯学習推進経費

(1) 青梅市生涯学習推進本部会議開催回数 2回

(2) 生涯学習推進市民会議

ア 生涯学習推進市民会議委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
横手良夫	学識経験者	3.31退任	戸井田圭子	団体代表者	9.30退任
藤野唯基		4.1就任	相澤麻由美		10.1就任
増田優子		3.31退任	篠田俊男		5.8退任
関谷望		4.1就任	和山満雄		5.9就任
菅勇真			唐津直樹		6.11退任
塩野麻理		9.30退任	宇津木繁		6.12就任
栗原郁夫			◎林義巳		
東慎次	団体代表者	9.30退任	沖山恵子		
菅原敏郎		10.1就任	大野友江		
小椋勝宏			加藤知恵		
○増子ますみ					

任期：令和2年10月1日～令和4年9月30日 ◎は議長、○は副議長

イ 生涯学習推進市民会議開催回数 3回

(3) 生涯学習だよりの発行

生涯学習だよりを年4回、各1,500部発行し、市内外の学習事業や催し物の周知を図った。

(4) 生涯学習講師・指導者およびボランティア協力者等人材登録制度

登録者数

(単位：人、団体)

体系	文化系	体育系	合計
個人	67	12	79
団体	2	0	2

(5) 生涯学習サークル登録団体状況

(単位：団体)

文化系	体育系	合計
108	35	143

(6) 青梅市生涯学習まちづくり出前講座

生涯学習の一助として、市職員や関係機関職員が講師となり市民のところに向向いて市の施策や情報および技術的知識等を生かした56メニューの講座のうち11講座を実施した。

日 程	内 容	担 当 課	延受講者
9.16 ～2.18	「学ぼう、ごみ減量につながる分別方法」 以下15講座	清掃リサイクル課以下9課	626人

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、4講座が中止となった。

(7) 行事傷害補償制度

社会教育課が主催する各種行事中の事故等による傷害を補償するため、前年度に引き続き公民館総合補償制度の行事傷害補償制度に加入した。

保険適用件数 0件

(8) 補助金

公共ホール等使用料助成金交付実績

交付件数 1件 交付金額 57千円

4 成人式開催経費

成人式

(単位：人)

期 日	対 象 者			会 場
	総 数	出席者数	生 年 月 日	
1.11	1,384	0	平成12年4月2日～平成13年4月1日	総合体育館

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止したが、市長および市議会議長からの祝辞、新成人による誓いの言葉、中学校時代の先生からのビデオレターを市ホームページに掲載した。

5 生涯学習事業経費

生涯学習事業の開催にあたっては、一部を公益財団法人青梅佐藤財団と連携し、共催で実施した。

(1) 乳幼児教育・家庭教育の充実

(単位：人)

期 日	事 業 名	講 師 等	会 場	延受講者数
10.24	家庭教育講演会 知って納得！オンライン授業～オンライン授業のメリット、デメリットについて保護者の疑問にお答えします～	大 橋 礼	受講者自宅 (オンライン講演会)	19
12.6	(公財)青梅佐藤財団共催事業 キッズ☆体験教室 むかし食育体験～味噌の蔵出し体験～	青梅食育クラブ	(公財)東京都 農林水産振興 財団青梅庁舎	32
1.23	家庭教育講演会 親から伝えたい 生命のこと、性のこと～「赤ちゃんはどこから来るの？」お子さんに聞かれてなんと答えますか？～	高柳起久恵	受講者自宅 (オンライン講演会)	46

期 日	事 業 名	講 師 等	会 場	延受講者数
2.7 2.11	(公財)青梅佐藤財団共催事業 キッズ☆体験教室 むかし食育体験～味噌づくり教室～	青梅食育クラブ	(公財)東京都 農林水産振興 財団青梅庁舎	新型コロナ ウイルス感 染拡大防止 のため中止
3.14	家庭教育講演会 親子でチャレンジ Scratch (スクラッ チ) !	鹿 野 市 郎 ほか	受講者自宅 (オンライン講演会)	17組
3.14 3.21	むかし食育体験～親子で楽しく味噌づ くり～	青梅食育クラブ	(公財)東京都 農林水産振興 財団青梅庁舎	新型コロナ ウイルス感 染拡大防止 のため中止

## (2) 豊かに生きるための学習機会の充実

(単位：人)

期 日	事 業 名	講 師 等	会 場	延受講者数
5.10～8.8 (全4回)	初心者の菊作り講座	清 水 高 志 山 崎 徳 信	新 町 市 民 セ ン タ ー	新型コロナ ウイルス感 染拡大防止 のため中止
8.4	(公財) 青梅佐藤財団共催事業 飛び出せ！夏のサイエンスキッズ のぞいてみよう 結晶の世界！(化学)	東 京 大 学 C A S T	文 化 交 流 セ ン タ ー	22
8.6	(公財) 青梅佐藤財団共催事業 飛び出せ！夏のサイエンスキッズ DNAって何だろう？(生物)	東 京 大 学 C A S T	文 化 交 流 セ ン タ ー	22
8.7	(公財) 青梅佐藤財団共催事業 飛び出せ！夏のサイエンスキッズ 温度と圧力の素敵な関係(物理)	東 京 大 学 C A S T	文 化 交 流 セ ン タ ー	22
9.6～ 10.11 (全6回)	みんなのフォークギター講座	柳 川 幹 司 村 野 公 一	文 化 交 流 セ ン タ ー	98
10.31	青梅市生涯学習推進市民会議企画講座 手ぬいを楽しむマスクづくり	増 子 ま す み	市 役 所	15
11.7	(公財)青梅佐藤財団共催事業特別講演会 中西進氏講演会 ～梅花に寄せる万葉の心～	中 西 進	総 合 体 育 館	213
11.8	(公財)青梅佐藤財団共催事業 国際理解講座公開講座 「今泉忠明先生講演会～ざんねんないき ものはホントにざんねんなのか～」	今 泉 忠 明	文 化 交 流 セ ン タ ー	65
11.14 11.15	青梅探訪 うんちく講座+散歩	大 倉 十 彌 也 村 野 公 一	文 化 交 流 セ ン タ ー	39
12.20	三井住友海上文化財団、東京都合同主催 ときめくひととき 第886回 地域住 民のためのコンサート 「加藤訓子ソロ コンサート エキサイティング！～スピ リット・オブ・パーカッション～」	加 藤 訓 子	文 化 交 流 セ ン タ ー	51
2.3～2.17 (全3回)	青梅市生涯学習推進市民会議企画講座 毛筆、はじめませんか	栗 原 秋 月	文 化 交 流 セ ン タ ー	新型コロナ ウイルス感 染拡大防止 のため延期

(歳出 10 教育費)

期 日	事 業 名	講 師 等	会 場	延受講者数
2.14	(公財)青梅佐藤財団共催事業 キッズ☆体験教室 銅線でキーホルダーを作ってみよう！	持 田 史 人	文 化 交 流 セ ン タ ー	新型コロナ ウイルス感 染拡大防 止のため 中止
2.20	(公財)青梅佐藤財団共催事業 キッズ☆体験教室 線香花火を作ってみよう！	青 沼 巖	文 化 交 流 セ ン タ ー	新型コロナ ウイルス感 染拡大防 止のため 中止
2.21	(公財)青梅佐藤財団共催事業 キッズ☆体験教室 バラのキャンドルを作ってみよう！	梅 交 子	文 化 交 流 セ ン タ ー	新型コロナ ウイルス感 染拡大防 止のため 中止
2.23	(公財)青梅佐藤財団・羽村市教育委員会 共催事業 講演会 小惑星探査機「はやぶさ2の挑 戦」	吉 川 真	受講者自宅 (オンライン講演会)	最大同時 視聴者数 261
2.28	(公財)青梅佐藤財団共催事業 キッズ☆体験教室 ミラーボールを作ってみよう！	吉 永 志 伸	新 町 市 民 セ ン タ ー	新型コロナ ウイルス感 染拡大防 止のため 中止

(3) とともに生きるための学習機会の充実

(単位：人)

期 日	事 業 名	講 師 等	会 場	延受講者数
4.19	青梅市生涯学習推進市民会議企画講座 英語で楽しむポーランド料理	ゴーシャ・スノウ	東青梅市民 セ ン タ ー	新型コロナ ウイルス感 染拡大防 止のため 中止
3.5	女性向けパワーアップ講座 ワークを通して、わたらしい働き方・ 生き方を考える～これからのマイ・キ ャリアをデザインする～(市民活動推 進課共催)	岩 嶋 寿 子	受講者自宅 (オンライン講座)	5

(4) 健やかに生きるための学習機会の充実

期 日	事 業 名	講 師 等	会 場	延受講者数
9.18	(一社)青梅市スポーツ協会共催事業 ピラティス～呼吸法と共に体幹を鍛える ～	三 和 由 香 利	総合体育館	新型コロナ ウイルス感 染拡大防 止のため 中止

(5) 暮らしやすい環境のための学習機会の充実

(単位：人)

期 日	事 業 名	講 師 等	会 場	延受講者数
4.26～11.8 (全9回)	令和2年度農業・食育体験教室	青梅食育クラブ ほか	(公財)東京都 農林水産振興 財団青梅庁舎	234

※第1回～第3回は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止

## (6) 推進体制づくり

期 日	事 業 名	講 師 等	会 場	参加者数
5.16～ 5.17	生涯学習フェスティバル ～釜の淵新緑祭2020～	42 事 業	釜 の 淵 公園内ほか	新型コロナ ウイルス感 染拡大防止 のため中止

## (7) おうめ子ども俳句コンテスト

期 日	行 事 名	会 場	投 句 数	入 選 数
12.5	第17回おうめ子ども俳句コンテスト表彰式	市 役 所	3,993句	29句

## (8) 学校施設（音楽室）開放

市民の生涯学習の振興を図るため、市内小・中学校の音楽室を開放したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、利用者はいなかった。

(単位：団体、回、人)

開 放 施 設	利用登録団体数	延 利 用 回 数	延 利 用 者 数
今 井 小 学 校	2	0	0
第 二 中 学 校	3	0	0

## (9) 視聴覚ライブラリー操作講習会

## ア 16ミリ発声映写機操作講習会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しなかった。

## イ ビデオプロジェクター操作講習会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しなかった。

## 6 児童合唱団等育成経費

## (1) 市民合唱団

新型コロナウイルス感染拡大防止のため定期演奏会は中止

## (2) 青少年吹奏楽団

期 日	行 事 名	会 場	入場者数
11.22	第 51 回 定 期 演 奏 会	羽村市生涯学習センターゆとろぎ	100人

## (3) 児童合唱団

新型コロナウイルス感染拡大防止のため定期演奏会は中止

## 7 青少年リーダー育成経費

## 青少年リーダー育成研修会

期 間	会 場	延 参 加 者 数	指 導 者 等
7.5～8.23 (全5回)	市 役 所 御 岳 山 宿 坊 丸 山 荘 ほか	102人	小 学 校 教 諭 青 少 年 委 員 ほか

(歳出 10 教 育 費)

## 8 国際理解講座開催経費

### (1) 小学生講座（(公財)青梅佐藤財団共催事業）

期 日	内 容	会 場	受 講 者 数	講 師
7.18～ 3.6 (全16回)	英 会 話 講 座 文 化 講 座	市 役 所 ほ か	小学4年生 12人 小学5年生 16人 小学6年生 9人 計 37人	ウィリアム・ノル クリストファー・ブジェ

※12回～16回は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止

### (2) 中学・高校生講座（(公財)青梅佐藤財団共催事業）

期 日	内 容	会 場	受 講 者 数	講 師
7.18～ 3.6 (全16回)	英 会 話 講 座 文 化 講 座	市 役 所 ほ か	中学1年生 15人 中学2年生 4人 中学3年生 2人 計 21人	ウィリアム・ノル クリストファー・ブジェ

※12回～16回は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止

### (3) 外国人日本語講座（(公財)青梅佐藤財団共催事業）

期 日	内 容	会 場	受 講 者 数	講 師
9.2～ 2.3 (全18回)	正しい日本語の学習 音声・文字・助詞	東 青 梅 セ ン タ ー ビ ル	10人	砂 岡 三 知 子 三 木 薫

## 9 子ども体験塾事業経費

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止

## 10 放課後子ども教室推進事業経費

### (1) 放課後子ども教室推進事業運営委員会委員

氏 名	選 出 区 分	備 考	氏 名	選 出 区 分	備 考
風間みどり	学 識 経 験 者		○ 星野綾子	実施コーディネーター	
中嶋 太	学 校 関 係 者		空野優子	学童クラブ関係者	
金子万里子	社 会 教 育 関 係 者		杉山香奈		7.5退任
◎ 高野一樹			森田義則		7.6就任
桑田早苗	児 童 福 祉 関 係 者		和田 宏	行 政 関 係 者	
山中 章	地 域 住 民 関 係 者	7.5退任	榎戸 智		
水野剛史		7.6就任	加藤博之		
大島慎史	P T A 関 係 者	7.5退任			
桑田淳一		7.6就任			

任期：令和元年7月10日～令和3年7月9日 ◎は委員長、○は副委員長

### (2) 放課後子ども教室推進事業運営委員会開催回数 3回

## (3) おうめ放課後子ども教室「夕やけランド」活動実績

(単位：人)

実施校	期 日	活 動 内 容	活 動 場 所	延参加者数
第一小	10.7～12.16 (全12回)	自主学习、工作、折り紙、 フリスビー、バドミントン ほか	体育館、校庭	544
第二小	10.23～12.23 (全19回)	自主学习、工作、ぬり絵、 ドッジボール、フリスビー ほか	体育館、校庭、 体育館2階	732
第三小	11.4～12.16 (全7回)	自主学习、塗り絵、 フラフープ、バドミントン ほか	体育館、校庭	316
第四小	10.9～12.23 (全21回)	自主学习、工作、紙芝居、読み聞か せ、 卓球、サッカー ほか	体育館、校庭、 ランチルーム、視聴覚室	559
第五小	9.23～12.18 (全38回)	自主学习、工作、読書、 卓球、サッカー ほか	体育館、校庭、中庭	1,775
第六小	10.14～12.23 (全11回)	自主学习、工作、折り紙、ビーチボ ールバレー、野球 ほか	体育館、校庭	380
第七小	9.30～12.23 (全35回)	自主学习、工作、折り紙、 ボール遊び、バドミントン ほか	体育館、校庭、教室	1,039
成木小	9.23～12.23 (全14回)	自主学习、工作、折り紙、 坊主めくり、バドミントン ほか	体育館、校庭、図書室	172
河辺小	10.7～12.16 (全9回)	自主学习、工作、 バスケットボール、サッカー ほか	体育館、校庭	472
新町小	10.7～12.16 (全11回)	自主学习、折り紙、 縄跳び、バドミントン ほか	体育館、校庭	299
霞台小	10.14～12.23 (全10回)	自主学习、工作、囲碁、けん玉、 バドミントン、バスケットボール ほか	体育館、校庭、教室	253
友田小	10.7～12.23 (全12回)	自主学习、折り紙、けん玉、 卓球、バスケットボール ほか	体育館、校庭	632
今井小	9.2～12.23 (全15回)	自主学习、工作、けん玉、 竹馬、バドミントン ほか	体育館、校庭	817
若草小	11.25～12.2 (全5回)	自主学习、工作、写し絵、 卓球、バドミントン ほか	体育館	242
藤橋小	9.23～12.23 (全10回)	自主学习、工作、折り紙、 バドミントン、ドッジビー ほか	体育館、校庭	261
吹上小	10.7～12.23 (全15回)	自主学习、工作、塗り絵、 竹馬、バドミントン ほか	体育館、校庭	310

## 11 御岳山ふれあいセンター管理経費

## 御岳山ふれあいセンター利用状況

(単位：回、人)

区 分	研 修 室	ス ポ ー ツ ホ ー ル	合 計
延べ利用回数	5	64	69
延べ利用人員	100	647	747

緊急事態宣言1回目(4月8日～6月19日)の期間は、施設を休館とした。また、緊急事態宣言2回目(1月9日～3月21日)の期間は午後7時30分まで開館した。

(歳出 10 教育費)

12 新型コロナウイルス対策市民活動団体支援事業経費

青梅市文化団体連盟に加盟する連盟、協会等の団体および青梅市生涯学習サークル登録団体が活動を行うに当たり新型コロナウイルス感染防止対策に必要な経費に対し、補助金を交付した。

交付状況

(単位：団体、千円)

区 分	対 象 団 体 数	交 付 団 体 数	補 助 金 額
文化団体連盟加盟団体	20	15	1,484
生涯学習サークル登録団体	129	39	370
合 計	149	54	1,854

13 新型コロナウイルス対策生涯学習推進経費

(1) 市ホームページから動画を配信

配信開始日	事 業 名	講 師 等
2. 9～	青梅市生涯学習推進市民会議企画講座 英語で料理教室 ①レモンメレンゲパイ ②野菜チキンスープ	①ラダンナ・スピペイ ②リンダ・エアーズ

(2) 備品購入

(単位：千円)

件 名	内 容	契 約 金 額	受 注 者
動画撮影機材購入	デジタルビデオカメラ 他付属品一式購入	132	榊青和施設工業所
合 計		132	

○ 文 化 事 業 費 ( 1 4 3 , 8 8 8 円 ) [社会教育課]

1 芸術文化奨励関係経費

芸術文化奨励賞受賞者

区 分	氏 名	該 当 事 項
書 道	虻 川 幸 華	第36回全国年賀はがきコンクール「文部科学大臣賞受賞」受賞
音 楽	市立第三小学校 金管バンド部	第25回日本管楽合奏コンテスト全国大会小学校部門に出場
音 楽	市立第三中学校 吹奏楽部	第25回日本管楽合奏コンテスト全国大会中学校A部門に出場
音 楽	市立吹上中学校 吹奏楽部	第25回日本管楽合奏コンテスト全国大会中学校S部門に出場

2 総合文化祭開催等経費

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止

## 1 郷土博物館管理経費

## (1) 郷土資料の収集および整理

収 集	電 算 入 力
2,008点 (民具類278点、文書等1,730点)	374点

## (2) 収蔵資料の貸出し

資 料 名	貸 出 し 先	期 間	理 由
映画館チケット等 45点	瑞穂町郷土資料館	8. 1～10. 9	展示のため
手回し洗濯機等 3点	青梅市立第三小学校	1. 22～ 2. 5	授業のため
防衛食容器 2点	羽村市郷土博物館	2. 26～ 3. 16	展示のため

## (3) 第33回多摩郷土誌フェアへの参加

多摩地区の市や町が参加し、郷土誌関係の出版物を展示し、多くの人々に紹介、希望者に頒布することを目的とした同フェアについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

## 2 郷土博物館事業経費

## (1) 展示事業

展 示 名	期 間	内 容
常設展「郷土のあゆみ展」	通 年	収蔵資料の中から青梅市域の自然や歴史、産業に関する資料を展示
新収蔵品展2019	4. 1～ 4. 5	平成30年度に収蔵した資料を展示
企画展「青梅宿の才人～山田早苗と小林天淵～」	6. 2～ 8. 2	江戸時代後期に活躍した青梅宿の才人・山田早苗と小林天淵をはじめ、同時期に活動した文化人の作品を展示
企画展「中世青梅の城館跡～静かに眠る柚保の城～」	8. 15～11. 29	勝沼城跡や今井城跡など市内にある中世城館跡の歴史や関連資料を展示するとともに、「勝沼城跡」の御城印を配布
収蔵品展「郷土工芸技術展～道具を通して見つめるものづくり～」	12. 12～ 3. 31	『青梅市郷土工芸技術調査報告書』の刊行にあわせ、青梅傘や青梅夜具地、青梅せんべいなど市内で使用された職人道具を展示

## (2) 普及事業

## ア 博物館関連講座

例年、企画展等に合わせた関連講座を実施している。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を取り止めた。

## イ 学芸員および文化財解説ボランティア等による展示解説

例年、企画展等の展示解説を学芸員および解説ボランティアにより実施している。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を取り止めた。

ウ 学芸員実習生の受入れ

例年、青梅市出身および市内在住の大学生を学芸員実習生として受け入れている。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を取り止めた。

(3) 博物館入館者数

(単位：人、日)

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数	備 考
4	328	5	10	1,698	27	個 人 11,931人 団 体 190人
5	0	0	11	2,288	25	
6	730	25	12	617	24	月平均 1,010人 1日平均 47人
7	739	27	1	705	24	
8	1,000	26	2	1,145	24	※4.6~6.1は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館
9	1,224	26	3	1,647	26	
合 計			12,121		259	

3 文化財管理経費

(1) 指定文化財の管理公開

(単位：㎡、人)

指 定 区 分	名 称	規 模	入 館 者 数
国指定重要文化財	旧宮崎家住宅	80.8	5,609
都指定有形文化財	旧吉野家住宅	1,780.0	1,046
都指定有形民俗文化財	旧稲葉家住宅	447.8	1,711
都指定史跡	勝沼城跡	134,227.0	
	青梅新町の大井戸	2,121.0	
市指定史跡	今井城跡	7,675.0	
	藤橋城跡	5,480.0	
	櫓台ほか	1,926.0	
	岩蔵住居跡	121.5	
	成木石灰所久保遺跡の一部	201.0	
合 計		154,060.1	8,366

※旧宮崎家住宅、旧吉野家住宅、旧稲葉家住宅は、4.6~6.1まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館した。

(2) 文化財の指定状況等

(単位：件)

国指定文化財	都指定文化財	市指定文化財	国登録文化財	合 計
18	46	135	17	216

#### 4 文化財調査保護経費

##### (1) 青梅市文化財保護審議会

###### ア 青梅市文化財保護審議会委員

氏名	備考	氏名	備考
◎ 河 東 義 之		保 坂 一 房	
○ 稲 葉 政 満		棚 橋 正 道	
山 本 勉		久 保 田 正 寿	
馬 場 憲 一		神 庭 正 則	
沖 川 伸 夫		西 村 慎 太 郎	

任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日 ◎は会長、○は副会長

イ 青梅市文化財保護審議会開催回数 2回

##### (2) 青梅市文化財保護指導員連絡協議会

###### ア 青梅市文化財保護指導員

氏名	備考	氏名	備考
角 田 清 美		御 手 洗 望	
三 好 ゆき江		荒 井 悦 子	
○ 神 森 正		塚 田 直 樹	
◎ 小 島 みどり		沖 祐 昭	
東 山 啓 子		黒 田 耕	

任期：令和2年1月1日～令和3年12月31日

◎は連絡協議会会長、○は連絡協議会副会長

イ 青梅市文化財保護指導員連絡協議会開催回数 4回

###### ウ 視察・調査

例年、文化財保護指導員の視察・調査を実施している。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を取り止めた。

###### エ 報告書等の刊行

名 称	内 容
「青梅市の文化遺産」	広報おうめに市内の文化遺産の紹介記事を掲載
指導員活動報告書第36号	根ヶ布にあった陶管工場、青梅市内における閻魔・十王・地藏信仰等を収録
文化財ニュース	文化財や自然等をテーマに月1回発行（第390号～第401号）

###### オ 普及活動

活 動 名 称	内 容
文化財・地域資料講演会	老壮大学等主催の講演会に、指導員が講師として延べ1回(1人)参加

カ わがまち青梅講座

文化財保護指導員の指導のもと、例年、市内の史跡等をめぐる講座を実施している。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を取り止めた。

(3) 指定文化財の普及事業

(単位：人)

実施期間	内 容	実 施 場 所	延 人 数
2.20～3.7	雛人形のミニ展示	旧宮崎家住宅、旧稲葉家住宅、旧吉野家住宅	706

例年、五月人形のミニ展示を実施している。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を取り止めた。

(4) 文化財講座

例年、伝統技術講座等を実施している。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を取り止めた。

(5) 東京文化財ウィーク2020

ア 東京文化財ウィーク2020

実施期間	内 容	公 開 場 所
10.31～11.8	東京都教育委員会と共催で実施する公開事業。市で管理する都指定文化財等を一般公開したほか、解説カードを配布。	郷土博物館・旧宮崎家住宅・旧吉野家住宅・旧稲葉家住宅・御岳の神代ケヤキ・鈴法寺跡・青梅新町の大井戸

イ 東京文化財ウィーク関連企画

例年、東京文化財ウィーク関連企画として都指定文化財等に関連した講座等を実施している。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を取り止めた。

(6) 文化財解説ボランティア

例年、文化財解説ボランティア育成のための管外見学や学習会、解説活動を実施している。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を取り止めた。

(7) 市指定無形民俗文化財（獅子舞7件）に対する保存伝承の奨励

名 称	指 定 年 月 日	名 称	指 定 年 月 日
鹿島玉川神社獅子舞	昭和42.11.3	野上春日神社獅子舞	昭和42.11.3
友田御嶽神社獅子舞	昭和42.11.3	上成木高水山獅子舞	昭和42.11.3
成木熊野神社獅子舞	昭和42.11.3	梅郷獅子舞	昭和44.11.3
天之社獅子舞	昭和45.11.3		

## (8) 調査報告書の発行

(単位：部、円)

書名	内 容	部 数	頒 布 価 格
青梅市郷土工芸技術調査報告書	A4判 163頁	300	500

## 5 埋蔵文化財調査保護経費

市内181か所の周知の埋蔵文化財について、各種開発に先駆けた事前の記録保存のための発掘調査を実施した。

## (1) 遺跡確認などの照会・届出等

(単位：件)

照 会 件 数	届 出 件 数	確認発掘調査	立 会 い 調 査	慎 重 工 事
364	45	7	36	2

## (2) 確認発掘調査

(単位：㎡)

遺 跡 名	所 在 地	調 査 面 積	結 果
K - 2 6	大門1-443-1他	10.00	遺構なし
馬 場	師岡町2-10	46.00	住居跡、土坑
下 清 水	梅郷5-994-1他	94.00	遺構なし
下 清 水	梅郷5-1047-24他	20.00	遺構なし
馬 場	野上町2-2-1他	105.00	土坑、ピット
合 計		275.00	

## 6 指定文化財保存事業経費

## 指定文化財保存修理補助事業

(単位：千円)

文 化 財 の 名 称	補 助 事 業 の 内 容	事 業 費	市 補 助 金	備 考
国宝 赤糸威鎧/ 重要文化財 紫裾濃鎧	落雷被害に伴う防災・ 防犯機能復旧工事	8,503	213	市補助金 2.5/100
都 指 定 有 形 文 化 財 御 嶽 神 社 旧 本 殿	漆塗り替え等工事	44,309	4,430	市補助金 1/10
都 指 定 有 形 文 化 財 春 日 神 社 本 殿	彩色の剥落止め等工事、 見取り図・旧文様痕跡 図の作成	16,096	1,609	市補助金 1/10
都 指 定 史 跡 成 木 熊 野 神 社 境 域	境域内の危険樹木伐採	825	82	市補助金 1/10
合 計		69,733	6,334	

## 7 郷土博物館施設整備経費

(単位：千円)

工 事 名 称	工 事 内 容	契 約 金 額	受 注 者	契 約 工 期
青梅市郷土博物館電気 自動車充電設備工事	電気自動車充電用の コンセント設置工事	281	(株) 萩原電機	10.2 ～11.30

(歳出 10 教 育 費)

## 1 美術館管理経費

## (1) 青梅市美術館運営委員会

## ア 青梅市美術館運営委員会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
荒井雄一	学校教育関係	4.17退任	◎橋本善八	知識経験者	
妹尾達実		4.18就任	○佐川美智子		
横手多喜子	社会教育関係		塩野麻理		
井土俊郎		10.6退任			
栗原郁夫		10.7就任			
持田晃子					

任期：令和2年10月7日～令和4年10月6日 ◎は委員長、○は副委員長

イ 青梅市美術館運営委員会開催回数 2回

## 2 美術館事業経費

## (1) 展示事業

## ア 展覧会および観覧者数

(単位：日、人)

展覧会名	会期	日数	観覧者数	内容	備考
特別展 「明治水彩の隠れた巨匠— 五百城文哉作品展」	4.11 ～5.31	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		
館蔵企画展 「モノクロームの詩—版画 に見る細密表現の世界」	9.19 ～11.23	57	1,195	13作家63点 館蔵品の中から、銅版画を 中心に細密表現によるモノ クロームの画面が特徴的 な作品を展示	
館蔵企画展 「長崎莫人展」	12.5 ～1.17	32	454	1作家44点 館蔵品の中から、1950～90 年代に制作された、雄大な 山の景色を描いた大型作品 を中心に、長崎莫人の作品 を展示	
共催展 「青梅市小学校造形作品展」	1.30 ～1.31	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		
館蔵企画展 「生誕120年—宮本十久一展」	2.13 ～3.28	38	1,117	1作家61点 宮本十久一の生誕120年を 記念して、館蔵品の中から、 本画や画帖、スケッチなど 大小さまざまな作品を展示	
合計		127	(A) 2,766		1日平均22人

常設展示 小島善太郎、藤本能道作品 (年3回展示替え)

市役所展示 小島善太郎、藤本能道作品 本庁舎2階展示コーナー(年3回展示替え)

イ 貸出施設使用による展示等

(単位：回、日、人)

種 別	開 催 数	日 数	利 用 者 数
一 般 展 示	2	12	1,244
合 計	2	12	(B) 1,244

美術館総入館者数 (A) + (B) = 4,010人

(2) 普及事業

例年、展覧会ごとに開催する学芸員によるギャラリートーク、夏休み時期等に開催する親子向け実技講座および小学校児童の美術鑑賞教室等を実施している。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を取り止めた。

(3) 収蔵作品数

(単位：点)

	日本画	油 彩	素 描	版 画	彫 刻	工 芸	書	合 計
前年度末保有数	351	374	769	591	11	130	5	2,231
本年度中 増 加 分	購 入	0	0	0	0	0	0	0
	寄 贈	0	0	0	0	0	0	0
調査による増減	5	0	17	49	0	0	0	71
本年度末保有数	356	374	786	640	11	130	5	2,302

※平成29年度から3カ年にわたり実施した所蔵作品調査に合わせ、組作品を全体で1点としていたものを、個々の作品を各1点と数える方法に変更したことにより、作品保有数が増加した。購入、寄贈による増加はない。

3 まるごとアート支援事業経費

市内で自主的な文化芸術活動を行う団体の事業を支援した。

(単位：千円)

事 業 名	団 体 名	補 助 金 額
青梅プロムナードコンサート 秋季・春季企画	青梅プロムナードコンサート	5
お箏の演奏会及びワークショップ	熙楽	51
合	計	56

4 美術館施設整備経費

(単位：千円)

工 事 名 称	工 事 内 容	契 約 金 額	受 注 者	契 約 工 期
青梅市立美術館電気自動車充電設備工事	電気自動車充電用のコンセント設置工事	253	(株)多摩電設	10.2 ～11.30

(歳出 10 教 育 費)

○ 吉川英治記念館費 ( 29,460,329円)

[文化課]

令和2年4月、公益財団法人吉川英治国民文化振興会より、吉川英治記念館の土地 5,073.38㎡、建物 1,264.29㎡および直筆原稿等関係資料約 11,000点の寄付を受け、同年9月、新たに「青梅市吉川英治記念館」として開館した。

施設の管理運営については指定管理者制度を導入し、令和2年7月から令和7年3月までの協定により、(株)フクシ・エンタープライズに委託することとなった。

1 吉川英治記念館管理経費

(1) 開館記念事業

事業名	実施日	内 容	参加者数	備 考
プレオープン イベント	9.5	地元関係者、プレス等内覧会	61人	
	9.6	岩下尚史氏 講演会	26人	母屋で実施
		市民内覧会	78人	事前申込制
		地元囃子連 演奏会	—	
オープニング セレモニー	9.7	開館式、記念植樹、テープカット	27人	英治忌を開館日に設定

(2) 記念館事業

ア 展示事業

展 示 名	期 間	内 容
常設展示	9.7～3.31	吉川英治の生い立ちや作品について、直筆原稿、写真パネル、愛用の品々など収蔵資料を展示
開館記念展 「吉川英治が愛した青梅」	9.7～12.27	旧吉野村で暮らした吉川英治の生活や交流について、収蔵資料や借用資料を通じて紹介
新春展示 「吉川英治の書画展」	1.9～3.28	旧吉野村在住時に創作された書画を中心に、吉川英治の文学作家とは別の側面を紹介

イ 普及事業

事業名	期間	内容
地域連携事業 「辛垣城跡の御城印配布」	12.27～ 3.31	地元関係者の協力により作成した御城印をアンケート協力者への来館記念として配布
地域連携事業 「ひな人形展」	2.20～ 3.14	地元関係者の協力により、ひな人形や吊るしびな等を母屋で展示
ミニ展示 「吉川英治賞」	3.3～ 3.31	2021年吉川英治文学賞や吉川英治文学新人賞などの受賞者をパネル展示等で紹介
春の美術館めぐり	3.11～ 3.12	青梅きもの博物館、青梅市吉川英治記念館、榎かんざし美術館および玉堂美術館の4館をめぐる無料循環バスを運行

その他、母屋内での投げ入れ花の展示をはじめ、オリジナルグッズの企画・販売、ハロウィンカボチャイベント、簡易イルミネーション、クリスマスミニ企画等を実施した。

なお、今年度のシーズンイベントとして予定していた秋のライトアップ&お茶会やガイドツアー、スポットイベントとして予定していた生演奏音楽コンサートや親子おはなし会等については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を取り止めた。

ウ 貸出事業

資料名	貸出期間	貸出先	理由
「杉本苑子宛 書簡」 1点	12.1～ 2.1	熱海市役所	展示のため
「宮本武蔵自筆書状」 1点	12.15～ 2.19	北九州市立自然史・歴史博物館	展示のため

エ 入館者数

(単位：人、日)

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数	備考
4	—	—	10	1,537	27	個人 4,758人 団体 1,181人
5	—	—	11	1,123	25	
6	—	—	12	423	24	月平均 848人 1日平均 35人
7	—	—	1	166	24	
8	—	—	2	746	24	※9.7から開館
9	1,128	21	3	816	26	
合 計				5,939	171	

中央図書館と9分館をもって、図書等資料の充実と利用者への資料提供の迅速化を図り、生涯学習の中核施設として図書館活動の推進に努めた。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のための緊急事態宣言により、令和2年4月9日から5月25日まで、図書館全館を休館した。その後の対応は閲覧時間の制限やイベントの中止など、感染拡大防止対策を講じて開館した。

1 図書館管理運営経費

(1) 青梅市図書館運営協議会

ア 青梅市図書館運営協議会委員

氏 名	選出区分	備 考	氏 名	選出区分	備 考
山崎尚史	学校教育関係者		安藤 壱	社会教育関係者	7.3退任
平岡直実			波田野英嗣		7.4就任
園田陽子	社会教育関係者		村田由子	知識経験者	
谷崎正江			○片岡元雄		
			◎沖川伸夫		

任期：令和元年10月1日～令和3年9月30日 ◎は会長、○は副会長

イ 青梅市図書館運営協議会開催回数 4回

(2) 各図書館の状況

ア 実績

(ア) 図書館および図書の利用数

(単位：日、人、回、冊)

図 書 館 名	開館日数	登 録 者 数 (令和3年3月31日現在)			利 用 者 数			団 体 貸 出	
		一 般	児 童	計	一 般	児 童	計	回数	冊数
中 央	286	31,247	5,259	36,506	110,882	8,540	119,422	165	2,353
青 梅	287	1,347	164	1,511	12,272	1,086	13,358	11	278
長 淵	287	2,233	234	2,467	9,499	1,622	11,121	37	412
大 門	287	2,350	177	2,527	9,254	1,334	10,588	45	755
梅 郷	287	1,541	165	1,706	8,491	1,541	10,032	29	288
沢 井	288	602	76	678	2,408	463	2,871	2	36
小曾木	288	432	30	462	2,624	329	2,953	22	422
成 木	288	382	50	432	1,567	357	1,924	17	416
新 町	287	3,280	323	3,603	17,425	3,055	20,480	17	410
今 井	287	1,484	150	1,634	7,197	969	8,166	22	337
合 計		44,898	6,628	51,526	181,619	19,296	200,915	367	5,707

(単位：冊)

図書館名	個人貸出冊数				蔵書冊数		
	一般	児童	雑誌	計	一般	児童	計
中央	183,945	77,402	26,773	288,120	254,738	59,154	313,892
青梅	25,771	11,098	1,901	38,770	34,875	17,172	52,047
長淵	20,994	15,432	1,715	38,141	17,357	12,957	30,314
大門	22,013	12,642	1,586	36,241	21,147	12,714	33,861
梅郷	16,480	12,284	2,369	31,133	17,634	12,165	29,799
沢井	4,913	4,804	973	10,690	11,775	11,699	23,474
小曾木	5,552	3,386	691	9,629	12,283	10,702	22,985
成木	2,494	4,616	280	7,390	13,298	10,605	23,903
新町	32,824	26,812	3,204	62,840	18,856	16,420	35,276
今井	16,973	8,373	1,602	26,948	16,981	12,023	29,004
合計	331,959	176,849	41,094	549,902	418,944	175,611	594,555

(イ) その他の資料の利用数

(単位：点)

図書館名	個人貸出点数		蔵書点数	
	視聴覚資料	ハンディキャップ資料	視聴覚資料	ハンディキャップ資料
中央	71,066	667	19,308	1,572

イ 蔵書数の増減

(ア) 図書

(単位：冊)

図書館名	受入冊数						廃棄冊数		
	購入冊数			寄贈冊数			一般	児童	計
	一般	児童	計	一般	児童	計			
中央	5,097	1,776	6,873	610	68	678	3,935	257	4,192
青梅	623	450	1,073	128	4	132	450	216	666
長淵	506	515	1,021	160	20	180	517	454	971
大門	598	495	1,093	64	4	68	308	227	535
梅郷	568	496	1,064	123	45	168	431	335	766
沢井	538	376	914	54	20	74	297	209	506
小曾木	577	479	1,056	57	21	78	342	462	804
成木	494	463	957	68	5	73	131	203	334
新町	565	567	1,132	69	6	75	646	424	1,070
今井	623	419	1,042	61	6	67	415	365	780
合計	10,189	6,036	16,225	1,394	199	1,593	7,472	3,152	10,624

(歳出 10 教育費)

## (イ) その他の資料

(単位：点)

図書館名	資料名	受入点数			廃棄点数
		購入点数	寄贈点数	計	
中央	視聴覚資料	860	17	877	267
	ハンディキャップ資料	9	33	42	0

## ウ 講座等の実施状況

(単位：回、人 ○は子ども読書活動推進事業)

内 容	場 所	期 日	回 数	講 師 等	延参加人数
中央図書館映画会	中央図書館	4.26	— (1)	—	—
分館資料展示	9 分 館	6.9～3.31	266	—	—
中央図書館2階視聴覚コーナー資料展示	中央図書館	6.17～3.31	9	—	—
中央図書館3階児童コーナー資料展示	中央図書館	6.19～3.31	24	—	—
中央図書館3階資料展示	中央図書館	6.26～3.31	33	—	—
中央図書館4階資料展示	中央図書館	6.26～3.31	7	—	—
中央図書館2階ハンディキャップコーナー展示	中央図書館	7.1～3.31	4	—	—
○絵本の森	中央図書館	11.6 12.4	2 (3)	図書館ボランティア	5
○うめこの時間 (おはなし会)	梅郷市民センター	11.7 1.11	2	図書館スタッフ	17
○おはなしにちようピーナッツ	中央図書館	11.8 12.13	2 (2)	図書館ボランティア 図書館スタッフ	29
○出張おはなし会	藤橋小学校	11.12	1	図書館ボランティア 図書館スタッフ	66
○おはなし会	今井市民センター	11.14 12.12 1.9	3 (1)	図書館ボランティア 図書館スタッフ	12
○おはなし会	青梅図書館	11.15 12.20	2 (1)	図書館ボランティア 図書館スタッフ	17
○おはなしドーナッツ	中央図書館	11.20 12.16	2	齋藤 厚子 大堀 知子 佐藤 貞子	35
○ちっちゃいこのおはなし会	中央図書館	11.22 12.27	2 (1)	図書館スタッフ	21
○施設見学 (市内小学校)	中央・青梅・ 成木図書館	11.24 12.17 12.22	4	図書館スタッフ	79
○おはなし会	中央図書館	11.28 12.19	2 (1)	図書館ボランティア 図書館スタッフ	24

内 容	場 所	期 日	回 数	講 師 等	延 参 加 人 数
○おはなし会	梅郷市民センター	12. 5	1 (1)	図書館ボランティア	6
ラッピングブック	今 井 図 書 館	12. 16～ 12. 20	1	—	30冊
かくれんぼ絵本	今 井 図 書 館	12. 16～ 12. 23	1	—	21冊
○おはなし会（小学生以上）	中 央 図 書 館	12. 19	1	図書館ボランティア 図書館スタッフ	5
○おはなし会	新町市民センター	12. 22	1	図書館ボランティア 図書館スタッフ	7
ラッピングブック	長 淵 図 書 館	12. 22～ 12. 23	1	—	40冊
新春イベント しおりプレゼント	青 梅 図 書 館	1. 4	1	—	120
新春お楽しみ袋	新 町 図 書 館	1. 4～1. 5	1	—	15袋
新春イベント お楽しみ袋	青 梅 図 書 館	1. 4～1. 7	1	—	20袋
新春おみくじつき お楽しみ袋	沢 井 図 書 館	1. 4～1. 11	1	—	26袋
新春お楽しみ袋	成 木 図 書 館	1. 4～1. 11	1	—	12袋
春のオススメお楽しみ袋	小 曾 木 図 書 館	3. 17～3. 28	1	—	20袋

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、4月1日～10月24日、1月10日～3月31日の講座等の開催は中止した。（計11回）また、実施事業については、参加人数の制限を行い実施した。なお、上記実施状況の回数欄の（ ）内は中止回数（外数）である。

#### エ 対面朗読サービス

実 施 場 所	実 施 回 数	延実施時間数	朗 読 者
中央図書館対面朗読室 ボランティア室	12回	11.5時間	図 書 館 ス タ ッ フ

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、朗読者と利用者の部屋を分け、遠隔操作にて行った。

オ 再利用図書の状況

(単位：冊)

区 分	再利用冊数	備 考
一 般 書	5,025	中央図書館の常設リサイクルコーナー
児 童 書	1,110	1.29 市内小・中学校、保育所等対象の再利用図書展示会(全館分)
	1,917	中央図書館の常設リサイクルコーナー
雑 誌	7,538	実施日は館により異なる
合 計	15,590	

カ 乳幼児預かりサービス

実 施 場 所	実 施 回 数	延利用者人数	備 考
中央図書館おはなしの部屋	0回	0人	

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止

(3) 相互利用登録者数

(単位：人)

区 分	一 般	児 童	合 計
飯 能 市	21	1	22
入 間 市	28	0	28

(4) 子ども読書活動推進事業

ア その他の講演会・講座の実施状況

(単位：人)

内 容	期 日	講 師	会 場	参加人数
子ども読書活動推進事業講演会 杉山きく子氏講演会	4.29	杉山 きく子	中央図書館	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
調べる学習相談窓口	8.1~8.23	図書館スタッフ	中央図書館	35
第4回青梅市図書館を使った調べる 学習コンクール審査会	10.26	—	中央図書館	7
第4回青梅市図書館を使った調べる 学習コンクール表彰式	12.5	—	市役所	24

イ ブックリストの配布

市内幼稚(児)園・保育所および小・中・高等学校等にブックリストを配布した。

ウ 図書館カードの作成

「子どもの読書活動推進」を図るため、全小学校の1年生に図書館カードの作成を行った。既登録者309人に今回の新規登録者541人を加え850人(1年生全体の97.0%)の児童が図書館カードを持つこととなり、図書館利用の促進を図ることができた。

## エ 学校と図書館の連携推進

第四次青梅市子ども読書活動推進計画により、学校図書館運営支援として、東小・中学校を除く小・中学校全校に学校司書を配置し、学校図書館の環境整備や児童・生徒の読書活動・学習支援等を行った。

また、小学校と図書館が連携して児童の読書活動を推進するため、学校連携推進重点校である藤橋小学校の1、2年生に出張おはなし会、2年生に図書館見学、1、5年生に団体貸出の推進を通じて読書活動の活性化を図った。

内 容	会 場	期 日	回数	講 師	参加人数
学校図書館運営支援	小・中学校	5.19～3.19	990回	図書館スタッフ	—
中央図書館一日図書館長 (学校連携推進重点校事業)	中央図書館	—	—	図書館スタッフ	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
講演会 (学校連携推進重点校事業)	藤橋小学校	11.5	—	中井貴恵	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

## 2 西多摩地域広域行政圏協議会共同事業経費

西多摩地域図書館広域利用登録者数

(単位：人)

区 分	福生市	羽村市	あきる野市	瑞穂町	日の出町	奥多摩町	檜原村	計
一 般	39	120	30	20	7	18	1	235
児 童	1	17	3	3	0	3	0	27
合 計	40	137	33	23	7	21	1	262

○ 文化交流センター費 ( 76,122,724円)

[社会教育課]

1 文化交流センター管理経費

(1) 青梅市文化交流センター運営協議会

ア 青梅市文化交流センター運営協議会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
◎ 橋本 研	利用団体の代表者		榎戸 直文	自治会の代表者	
本田 正実			中西 和夫		
斉藤 裕子			○ 川崎 真也子	生涯学習 コーディネーター	
中林 彰子			鬼塚 昌和	公募の市民	
増子 ますみ	生涯学習推進 市民会議の代表者				

任期 令和2年1月29日～令和3年3月31日 ◎は委員長、○は副委員長

イ 青梅市文化交流センター運営協議会は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止した。

(2) 生涯学習コーディネーター・プロデューサーの設置

ア 生涯学習コーディネーター・プロデューサー

文化交流センターにおける生涯学習の推進を図った。

区分	氏名	区分	備考
生涯学習コーディネーター	川崎 真也子		
生涯学習プロデューサー	須崎 八州治	音楽文化空間	
	鶴岡 義弘	にぎわい創出	
	神山 由香里	市民活動	

イ 生涯学習コーディネーター・プロデューサー会議開催回数 8回

ウ ネットたまごセンター利用者懇談会

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止した。

(3) 利用状況

ア 多目的ホール

(単位：回、人)

延べ利用回数	延べ利用人員	稼働率	
		使用可能回数	率 (%)
335	7,901	762	44.0

## イ 会議室等

(単位：回、人)

延べ利用回数	延べ利用人員	稼働率	
		使用可能回数	率(%)
9,951	44,306	24,266	41.0

令和2年4月8日から6月19日まで緊急事態宣言のため、施設を休館した。また、新型コロナウイルス感染防止対策として、施設利用者数の上限を半数とするなど対策を講じた。

## (4) 備品購入

(単位：千円)

件名	内容	契約金額	受注者
青梅市文化交流センター備品購入	アルミ製ロールボックス	129	榎間坂屋紙店

## 2 文化交流センター施設整備経費

## 工事

(単位：千円)

工事名称	工事内容	契約金額	受注者	契約工期
青梅市文化交流センター地下活動室改修設計・施工	文化活動室Aとバンドルームの遮音性能を向上させる工事	38,500	㈱日本環境アメニティ	10.2 ～3.18

(歳出 10 教育費)

保 健 体 育 費

355,039,787円

○ スポーツ推進費 ( 355,039,787円) [スポーツ推進課]

1 スポーツ推進事業経費

(1) 青梅市スポーツ振興審議会

ア 青梅市スポーツ振興審議会委員

(令和3年3月31日現在)

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
○ 杉 山 裕 之	社会体育関係	◎ 本 村 清 人	知 識 経 験 者
神 尾 和 弘		市 川 幸 次	
渡 辺 清 美		宮 口 泉	
武 藤 比 奈 子		森 田 昭 子	
神 野 孝 彦	学校体育関係		

任期：令和2年5月14日～令和4年5月13日 ◎は会長、○は副会長

イ 青梅市スポーツ振興審議会開催回数 (書面開催含む) 3回

区 分	期 日	内 容
会 議	7.16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度青梅市スポーツ振興基金条例にもとづく援助等の結果について(報告)</li> <li>・第54回青梅マラソン大会の結果について(報告)</li> <li>・令和2年度スポーツ推進事業について(報告)</li> <li>・青梅市スポーツ振興基金条例にもとづく援助および表彰について(諮問)</li> <li>・青梅市スポーツ施設ストック適正化計画の策定について(協議)</li> <li>・スポーツ施設の使用料について(協議)</li> <li>・学校施設開放事業について(その他)</li> </ul>
	10.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オクトーバー・ラン&amp;ウォーク2020について(報告)</li> <li>・第82回奥多摩溪谷駅伝競走大会の開催について(報告)</li> <li>・第55回記念青梅マラソン大会の延期および代替イベントの実施について(報告)</li> <li>・青梅市スポーツ振興基金条例にもとづく表彰について(諮問)</li> <li>・今後のスポーツ施設の利活用および整備方針について(協議)</li> <li>・スポーツ施設の使用料改定(案)について(協議)</li> </ul>
	2.12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第82回奥多摩溪谷駅伝競走大会開催結果について(報告)</li> <li>・青梅ロードレース2021バーチャルについて(報告)</li> <li>・青梅市スポーツ振興基金について(報告)</li> <li>・青梅市スポーツ振興基金条例にもとづく援助について(諮問)</li> <li>・青梅市スポーツ施設ストック適正化計画(素案)について(協議)</li> </ul>

※ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出のため、2月12日は書面開催

## (2) 青梅市スポーツ推進委員

## ア 青梅市スポーツ推進委員

(令和3年3月31日現在)

氏名	担当地区	氏名	担当地区
荒井早苗	第1支会	浅見幸男	第6支会
菅野正浩		黒木伸二	
藤野昌男		野口真吾	第7支会
◎渡辺清美	第2支会		第8支会
細川昭男		○野村欣史	
岩田忠		○三角和則	
谷村光智		森真紀	
相原敏治	第3支会	中西裕樹	第9支会
寺島永子		清水唯人	
井上学	第4支会	奥山忠夫	第10支会
原島弘			
小山和也	第5支会	久保田靖典	第11支会
金丸典子		石上憲志郎	
			三 団 地

任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日 ◎は会長、○は副会長

イ 青梅市スポーツ推進委員協議会開催回数（定例会）（書面開催含む） 11回

## ウ 研修会

(単位：人)

期 日	会 場	内 容	参 加 員 人
9.13	総合体育館	新任研修会	22
11.7	中野サンプラザ	課題別研修会	1
2.13	オンライン研修	東京都地域スポーツ支援研修会 市町村部	5

## エ 軽スポーツ普及事業

青梅市スポーツ推進委員が、誰でも気軽に楽しめるスポーツとして、ボッチャの指導・普及を目的とした練習会、交流会（6月7日）を計画していたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

## オ ウォーキングフェスタ

いつでも、どこでも、手軽にできるウォーキングを通し、体力増進・健康保持とあわせて「私たちのまち・青梅」を楽しく歩いて頂くことを目的に、第16回ウォーキングフェスタを実施した。

(単位：人)

期 日	内 容	主 管	参加人員
11.23	スタート・ゴール コース 青梅市役所 約10km	青梅市スポーツ推進委員協議会	105

(歳出 10 教 育 費)

(3) 体育団体に対する補助

団 体 名	補 助 額	補 助 の 目 的	備 考
(一社) 青梅市スポーツ協会	1,656千円	体 育 団 体 の 育 成	加盟団体30団体

(4) ジュニアスポーツ教室

児童のスポーツ活動の活性化と健全育成を図るため、小学生を対象に、一般社団法人青梅市スポーツ協会に委託をしてスポーツ教室の開催を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は中止とした。

(5) 柔剣道スポーツ教室

開催結果

(単位：教室、回、人)

教 室 名	期 間	教 室 数	回 数	参加人員	指 導 者
柔道スポーツ教室	4.1~3.31	6	157	1,577	青梅市柔道連盟指導員
剣道スポーツ教室	4.1~3.31	10	257	2,947	青梅市剣道連盟指導員
合 計		16	414	4,524	

※ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出のため、4月4日から6月28日および1月9日から3月21日までの期間、教室中止

(6) 第61回市民体育大会

市民の健康・体力づくりと競技力の向上を目指し、スポーツを通じた地域交流を図るため、市民を対象に、一般社団法人青梅市スポーツ協会に委託をして市民体育大会の開催を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は中止とした。

(7) 各種スポーツ大会

開催結果

(単位：人)

大 会 名	期 日	種 目	会 場	参加人員
都民生涯スポーツ大会	8.16 ~10.18	全 17 競 技 水 泳 等 4 競 技 参 加	駒沢公園ほか	61

※ 都民体育大会・東京都市町村総合体育大会・都民スポレクふれあい大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は開催中止

(8) 第31回スポーツ・レクリエーションフェスティバル

10月11日（日）にスポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、代替として市の体育施設を市民に無料で開放した。

(9) 地区市民運動会等

地区市民運動会等交付金を自治会振興交付金に統合し、廃止した。

(10) オクトーバー・ラン&ウォーク2020

一般財団法人アールビーズスポーツ財団が主催する、スマートフォンアプリを用いて自治体間で走行・歩行距離を競うランニング・ウォーキングイベント「オクトーバー・ラン&ウォーク2020」に青梅市として参加し、コロナ禍においてもスポーツを楽しめるよう、個々で取り組むことができ、スポーツを始めるきっかけとなる機会の提供を行った。

開催期間 10月1日(木)～10月31日(土)

参加人数 ランニングの部 146人

ウォーキングの部 399人

2 スポーツ振興奨励関係経費

市民の心身の健全な育成と社会体育の振興を図るため、市民ならびに市内に活動の本拠のある個人および団体のスポーツ等の活動に対し、援助および表彰を下記のとおり行った。

令和2年度青梅市スポーツ振興基金援助総括 (単位：千円、件)

区 分	援助金額	内 容
1 大会出場報償事業 (施行規則第2条第1項第1号)	10	第36回全日本シニアバドミントン選手権大会
2 スポーツ普及推進事業 (施行規則第2条第1項第2号)	41	スケート教室以下 2
3 大会運営事業 (施行規則第2条第1項第3号)	0	なし
4 その他事業 (施行規則第2条第1項第4号)	1,260	スポーツ育成強化事業以下 4
5 表彰 (施行規則第2条第2項)	103	青梅市スポーツ功労賞 個人 1人 青梅市スポーツ賞 個人 16人 団体 3団体(33人) 青梅市スポーツ奨励賞 個人 10人 団体 1団体(7人)
合 計	1,414	

### 3 青梅マラソン大会開催経費

#### 第55回記念青梅マラソン大会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期とし、代替イベントとしてスマートフォンアプリなどを利用したオンラインマラソン「青梅ロードレース2021バーチャル」を実施した。

(1) 実施期間 2月20日(土)～2月28日(日)

(2) 人数

(単位:人)

区 分	エントリー数	参加者数	完走者数
10キロの部	830	816	756
30キロの部	2,494	2,463	2,251
ペア5キロの部	63	56	54
合 計	3,387	3,335	3,061

### 4 奥多摩溪谷駅伝開催経費

第82回奥多摩溪谷駅伝競走大会 期日 12月6日(日)

一般、大学、高校の部

青梅市役所前 ⇄ JR青梅線奥多摩駅前折返し 44.8km

女子

JR青梅線御嶽駅前 ⇒ 青梅市役所前 11.1km

なお、支会・自治会の部、小学生の部、中学生の部は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

開催結果

参加チーム数 197チーム

区分 部別	参加 チーム数	成 績		
		1 位	2 位	3 位
一 般	131	コモディイイダ (2時間11分38秒) (大会新記録)	松 戸 市 陸 協 (2時間21分04秒)	八王子富士森走友会A (2時間23分18秒)
大 学	17	拓 殖 大 学 A (2時間13分57秒)	中 央 大 学 (2時間15分49秒)	拓 殖 大 学 B (2時間17分09秒)
高 校	6	武 蔵 越 生 A (2時間19分18秒) (大会新記録)	慶 應 義 塾 志 木 高 校 A (2時間28分19秒)	武 蔵 越 生 B (2時間31分40秒)
女 子	43	富津合同練習会A ( 38分35秒)	チ ー ム ベ ベ B ( 39分15秒)	東 海 ・ 松 陰 ( 39分19秒)

5 学校体育施設開放関係経費

市民のスポーツ活動の場として、市内小・中学校の体育館と校庭を開放した。

(1) 学校施設開放運営委員会委員

氏名	選出区分	氏名	選出区分
◎ 富田 聖和	中学校校長	後藤 拓己	小学校体育教諭
○ 塚田 直樹	小学校校長	早川 博	文化関係団体
後藤 英二	中学校副校長	小椋 勝宏	体育関係団体
田澤 直子	小学校副校長	島田 規啓	
田村 拓巳	中学校音楽教諭	久下 祐午	P T A 役員

任期：令和2年4月1日～令和3年3月31日 ◎は委員長、○は副委員長

(2) 学校施設開放運営委員会開催回数 (書面開催含む) 2回

期日	内 容
8.19	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度学校施設開放事業利用状況について</li> <li>令和2年度学校別登録数等について</li> <li>令和2年度学校施設開放事業関係予算について</li> <li>学校施設開放(音楽室)利用状況集計表について</li> <li>新型コロナウイルス感染拡大防止について</li> </ul>
11.10	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度学校施設開放事業に関するアンケート結果について</li> <li>令和3年度青梅市立学校施設開放団体登録について(体育館および校庭)</li> <li>令和3年度青梅市立学校施設開放団体登録について(音楽室)</li> <li>青梅市文化交流センター地下活動室改修に伴う一部施設の利用不可による代替場所としての青梅市立成木小学校および青梅市立第七中学校の体育館の使用について</li> </ul>

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8月19日は書面開催

(3) 利用状況

登録団体 209団体 (単位：回、人)

区 分	利 用 回 数	人 員	
小 学 校	体 育 館	977	17,553
	校 庭	655	27,822
中 学 校	体 育 館	611	8,171
	校 庭	112	2,026
体 育 館 計	1,588	25,724	
校 庭 計	767	29,848	
合 計	2,355	55,572	

※ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出のため、4月1日から校庭を7月17日まで、体育館を7月31日まで、全施設を1月9日から3月21日まで開放中止

## 6 屋内温水プール開放事業経費

民間温水プールを借り上げ、日曜日の午前10時から午後6時まで開放した。

開催結果

(単位：回、人)

開 放 日	開 放 場 所	回 数	利 用 人 員		
			大人	小人	計
毎 週 日 曜 日	セントラルフィットネスクラブ西東京店	24	902	421	1,323

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月1日から9月27日まで開放中止

## 7 西多摩地域広域行政圏協議会共同事業経費

西多摩地域の住民の間に広くスポーツ・レクリエーションを普及し、地域でのスポーツの活性化と住民の交流・親睦を図ることを目的に、あきる野市・檜原村が当番市町村となり、第30回西多摩地域広域行政圏体育大会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和3年度へ延期とした。

なお、体育大会の前日に誰でも気軽に楽しめる参加型イベント「スポーツフェスタ」についても、併せて中止とした。

## 8 39市町村共同事業助成経費

多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業

多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成金を活用し、継続的な子どもの体力・運動能力向上に資する事業、障害者スポーツ、ニュースポーツの振興および理解促進に資する事業を行った。

### (1) スポーツ×地域の魅力 カヌー体験プログラム

実 施 日 8月15日(土)、8月22日(土)、8月29日(土)  
9月5日(土)  
9月13日(日) (雨による増水のため中止)

会 場 釜の淵公園内の多摩川

指 導 特定非営利活動法人青梅市カヌー協会

参加者数 151人

### (2) タグラグビー体験会

市内の小中学生を対象としたタグラグビーの体験会を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

### (3) ボッチャ体験教室

障害の有無や年齢、性別にかかわらず誰もが楽しめるスポーツとして、ボッチャの体験会、交流会を計画し、用具を購入したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

9 総合体育館管理経費

青梅市総合体育館および青梅市体育施設7施設について、平成28年4月から指定管理者制度を導入し、新たに平成31年4月から令和6年3月までの5年間の協定により、青梅市スポーツ施設運営パートナーズが運営を行っている。

また、青梅市総合体育館については、命名権（ネーミングライツ）制度を導入し、平成31年4月から5年間の協定を住友金属鉱山株式会社と締結し、施設愛称を「住友金属鉱山アリーナ青梅」として運営している。

(1) 利用状況

開館日数 274日 利用人員 69,033人 (単位：件、人、回)

施設名	利用区分		個人利用				計	
	区分	団体利用 利用 件数	人員	開放 回数	人員			
					大人	小人	計	
第1スポーツホール		305	12,916	208	19,620	2,569	22,189	35,105
第2スポーツホール		260	3,698	143	374	2,116	2,490	6,188
トレーニングルーム		—	—	270	21,220	22	21,242	21,242
会議室		943	6,498	—	—	—	—	6,498
合計		1,508	23,112	621	41,214	4,707	45,921	69,033

※ 登録制教室(4,224人)、当日制教室(8,423人)、幼児一時預かり(5人)は含まない  
新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出のため、4月6日から6月19日まで施設閉鎖(受付窓口以外)、1月9日から3月21日まで夜間の利用中止

(2) 修繕

(単位：千円)

修繕名称	修繕内容	契約金額	受注者	契約期間
会議室等網戸設置修繕	会議室(第1～第5)、幼児室、事務室(応接室含む)網戸の修繕	596	窓建	9.4～10.30
排煙オペレーター装置修繕	換気排煙窓開閉装置の修繕	3,179	株 豊和	1.18～3.19

(3) 委託

(単位：千円)

委託名称	委託内容	契約金額	受注者	契約期間
小便器排水管清掃業務委託	男性小便器排水管の高圧洗浄	928	青梅新興(株)	1.19～3.19

(4) 主な備品購入

(単位：千円)

件名	内容	契約金額	受注者
厨房空調設備購入	館内レストラン厨房に空調設備を設置	1,155	師岡設備工業(株)

(歳出 10 教育費)

10 永山公園総合運動場管理経費

利用状況

利用回数 5,704回 利用人員 37,135人 (単位:回、人、%)

施設名	利用回数	使用可能回数	稼働率	平日			土日祝日			利用人員	備考	
				利用回数	使用可能回数	稼働率	利用回数	使用可能回数	稼働率			
陸上競技場	昼間	334	1,532	21.8	16	994	1.6	318	538	59.1	3,943	1周300m・ソフト2面
	夜間	113	345	32.8	104	228	45.6	9	117	7.7	4,655	
野球場	昼間	188	791	23.8	8	495	1.6	180	296	60.8	2,872	1面
	夜間	35	353	9.9	25	227	11.0	10	126	7.9	491	
庭球場	昼間	1,677	2,947	56.9	817	1,984	41.2	860	963	89.3	6,550	3面
	夜間	891	1,239	71.9	615	824	74.6	276	415	66.5	3,525	
弓道場		972	1,650	58.9	696	1,099	63.3	276	551	50.1	5,645	6人立
体育館1階		573	1,650	34.7	282	1,099	25.7	291	551	52.8	4,168	畳敷
体育館2階		921	1,646	56.0	586	1,095	53.5	335	551	60.8	5,286	床

※ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出のため、体育館、弓道場を4月6日から6月19日まで、陸上競技場、野球場、庭球場を4月8日から6月5日まで施設閉鎖、全施設を1月9日から3月21日まで夜間の利用中止

11 市民球技場管理経費

(1) 利用状況

利用回数 4,886回 利用人員 37,772人 (単位:回、人、%)

施設名	利用回数	使用可能回数	稼働率	平日			土日祝日			利用人員	備考
				利用回数	使用可能回数	稼働率	利用回数	使用可能回数	稼働率		
野球場	579	2,052	28.2	96	1,400	6.9	483	652	74.1	8,716	2面
少年野球場	271	1,018	26.6	15	693	2.2	256	325	78.8	4,541	1面
庭球場	3,744	5,581	67.1	2,093	3,849	54.4	1,651	1,732	95.3	18,191	10面
蹴球場	292	1,027	28.4	74	696	10.6	218	331	65.9	6,324	1面

※ 6月6日から8月15日までの間は、午後7時まで使用可能  
令和元年10月12日の台風19号被害により、庭球場は10面のうち5面が使用不能  
新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出のため、4月8日から6月5日まで施設閉鎖

(2) 主な修繕

(単位:千円)

修繕名称	修繕内容	契約金額	受注者	契約期間
管理棟東側隣接トイレ洋式便器化修繕	管理棟隣接トイレの洋式便器化	512	青梅ガス(株)	9.8~12.18

12 わかぐさ公園野球場管理経費

利用状況

利用回数 496回 利用人員 7,443人 (単位：回、人、%)

施設名	利用回数	使用可能回数	稼働率	平日			土日祝日			利用人員	備考	
				利用回数	使用可能回数	稼働率	利用回数	使用可能回数	稼働率			
少年野球場	昼間	366	1,042	35.1	95	692	13.7	271	350	77.4	5,844	1面
	夜間	130	486	26.7	108	321	33.6	22	165	13.3	1,599	

※ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出のため、4月8日から6月5日まで施設閉鎖、1月9日から3月21日まで夜間の利用中止

13 ちがむら球技場管理経費

利用状況

利用回数 404回 利用人員 3,994人 (単位：回、人、%)

施設名	利用回数	使用可能回数	稼働率	平日			土日祝日			利用人員	備考	
				利用回数	使用可能回数	稼働率	利用回数	使用可能回数	稼働率			
野球場	昼間	141	554	25.5	4	374	1.1	137	180	76.1	2,500	1面
	夜間	55	271	20.3	40	183	21.9	15	88	17.0	883	
庭球場	208	883	23.6	27	602	4.5	181	281	64.4	611	2面	

※ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出のため、4月8日から6月5日まで施設閉鎖

14 東原公園球技場管理経費

利用状況

利用回数 1,069回 利用人員 19,917人 (単位：回、人、%)

施設名	利用回数	使用可能回数	稼働率	平日			土日祝日			利用人員	備考	
				利用回数	使用可能回数	稼働率	利用回数	使用可能回数	稼働率			
球技場	昼間	603	1,995	30.2	138	1,347	10.2	465	648	71.8	8,239	2面
	夜間	466	926	50.3	356	626	56.9	110	300	36.7	11,678	

※ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出のため、4月8日から6月5日まで施設閉鎖、1月9日から3月21日まで夜間の利用中止

15 友田レクリエーション広場管理経費

利用状況

利用回数 677回 利用人員 3,760人 (単位：回、人、%)

施設名	利用回数	使用可能回数	稼働率	平日			土日祝日			利用人員	備考
				利用回数	使用可能回数	稼働率	利用回数	使用可能回数	稼働率		
ソフトボール場	16	328	4.9	0	184	0.0	16	144	11.1	202	1面
庭球場	661	2,284	28.9	80	1,489	5.4	581	795	73.1	3,558	3面

※ 6月6日から8月15日までの間は、午後7時まで使用可能  
 令和元年10月12日の台風19号被害により、ソフトボール場が一部使用不能  
 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出のため、4月8日から6月5日まで施設閉鎖

16 青梅スタジアム管理経費

利用状況

利用回数 1,092回 利用人員 8,209人 (単位：回、人、%)

施設名	利用回数	使用可能回数	稼働率	平日			土日祝日			利用人員	備考
				利用回数	使用可能回数	稼働率	利用回数	使用可能回数	稼働率		
野球場	299	709	42.2	50	447	11.2	249	262	95.0	4,845	1面
庭球場	793	2,093	37.9	185	1,394	13.3	608	699	87.0	3,364	3面

※ 6月6日から8月15日までの間は、午後7時まで使用可能  
 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出のため、4月8日から6月5日まで施設閉鎖

17 東原公園水泳場管理経費

青梅市営水泳場については、平成26年4月から指定管理者制度を導入しており、新たに平成31年4月から令和6年3月までの5年間の協定により、青梅市スポーツ施設運営パートナーズが運営を行っている。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は開場を中止した。

18 わかぐさ公園こどもプール管理経費

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は開場を中止した。

修繕 (単位：千円)

修繕名称	修繕内容	契約金額	受注者	契約期間
こどもプール管理棟トイレ洋式便器化修繕	管理棟トイレの洋式便器化	2,750	師岡設備工業(株)	9.8~12.18

19 沢井市民センタープール管理経費

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は開場を中止した。

20 水泳場管理経費

釜の淵公園水泳場・長淵水泳場は令和2年度をもって廃止した。

21 運動広場管理経費

運動広場

(1) 地区別設置状況

(単位：か所、㎡)

地区	運動広場数	総面積	地区	運動広場数	総面積
青 梅	6	9,461.32	成 木	4	8,340.31
長 淵	11	25,274.53	東 青 梅	4	8,321.76
大 門	13	41,344.89	新 町	2	4,646.57
梅 郷	8	10,852.09	河 辺	1	1,018.00
沢 井	7	19,108.68	今 井	6	14,841.28
小 曾 木	8	18,945.18	合 計	70	162,154.61

(2) 主な委託業務

委託名称	委託内容	契約金額	受注者	契約期間
運動広場管理業務委託	施設の管理、清掃、除草等	5,838千円	地元自治会等	4.1～3.31

(3) 土地借上料等

賃貸借契約件数	賃借料	使用貸借契約件数
38件	44,496千円	14件

22 水泳場整備経費

(1) 委託業務

(単位：千円)

委託名称	委託内容	契約金額	受注者	契約期間
東原公園水泳場 管理棟耐震診断調査委託	管理棟の耐震診断調査	1,840	(株)大誠建築設計事務所	6.16～ 10.30
東原公園水泳場 アスベスト 含有調査委託	管理棟の改修工事に伴う アスベスト含有調査	72	環境保全(株)東京支店	11.26～ 1.15

(2) 工事

(単位：千円)

工事名称	工事内容	契約金額	受注者	契約期間
東原公園水泳場 管理棟耐震改修工事	東原公園水泳場管理棟 の耐震改修工事	2,310	井戸鉄建(株)	2.16～ 3.30

(歳出 10 教育費)

23 運動広場整備経費

工事 前年度繰越事業（事故繰越）

（単位：千円）

工 事 名 称	工 事 内 容	元 年 度 支 払 額	2 年 度 支 払 額	受 注 者	契 約 期 間
梅郷1・2丁目運動広場トイレ等設置工事	運動広場新設に伴うトイレ等設置工事	0	7,425	(有)宮崎土木	R元.5.28～ R2.5.29

24 新型コロナウイルス対策市民活動団体支援事業経費

一般社団法人青梅市スポーツ協会に加盟する団体の活動継続を支援するため、加盟団体が活動を行うに当たり、新型コロナウイルス感染予防対策に必要とした経費に対し、補助金を交付した。

交付状況

対 象 団 体 数	交 付 団 体 数	補 助 金 額
30団体	24団体	2,244千円